

第二次

# 長野市生涯学習推進計画



長野市  
長野市教育委員会



### マナビィとは

文部科学省の依頼により、故・石ノ森章太郎（漫画家）さんが無償でデザインした生涯学習のマスコットマークです。生涯学習の「学ぶ」とみつばちの「Bee」を合わせ、「マナビィ」と名づけられました。みつばちの触覚は2本ですが、「学」という字の頭に角が3本あるように、学ぶことの好きな「マナビィ」には触角が3本あります。そして、老若男女がいつでもどこでも楽しく学び活動するといった生涯学習のイメージを浸透させることに大きな役割を果たしています。

マナビィが持っている「壺」に入っているものは、一見ハチミツにも見えますが、じつは、「マナ」（コエンドロ（コリアンダー））という植物の実で、イスラエルの民がエジプトを脱出し、荒野を旅していたときに天から授かり、以後40年間、この「マナ」だけを食べて生き延びたと言われている食べ物だそうです。石ノ森章太郎さんは、「学び」は人々が生きていく上で欠かせないものであるというメッセージを、我々に託されたのでしょう。

# はじめに

本市では、「だれもが生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学び、互いに高めあうとともに、学びの成果が活力ある地域づくりにつながる生涯学習のまち」をめざし、事業推進のための行動計画として、平成24年に5ヵ年計画で長野市生涯学習推進計画を策定し、諸施策を推進してまいりました。

少子・高齢化や高度情報化、国際化等が進行する中、情報モラルの欠如や家庭・地域の教育力の低下等に対する学びの機会の必要性も増しています。

このような中で、これまでの生きがいや自己の可能性を広げる学びに加え、今の時代を生き抜くための学び、それによる人と人とのつながりや成果を家庭・地域・学校の中に生かしていくことが今後更に重要であると考えております。

長野市生涯学習推進計画は、策定から計画年の5ヵ年が経過することから、これまでの計画の実績、評価に基づき、更なる市民の生涯学習の推進と振興を目指し、次の5ヵ年に向けた「第二次長野市生涯学習推進計画」を策定したものです。

本市は、平成29年4月から「第五次長野市総合計画」がスタートします。

また、本市の教育大綱となる「長野市教育振興基本計画」も計画年の5ヵ年を経過することから、「第五次長野市総合計画」「長野市教育振興基本計画」「長野市生涯学習推進計画」のそれぞれの計画の整合性を図りながら、策定をしてまいりました。

今後も、第二次長野市生涯学習推進計画に基づき、諸施策の積極的な推進に努めてまいりますので、市民の皆様はじめ、関係の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、長野市生涯学習推進計画策定委員会の委員の皆様をはじめ、長野市まちづくり意見等公募制度（パブリックコメント）などで貴重なご意見やご提案をいただきました皆様に心から感謝を申し上げます。

平成29年4月



# 本書の構成

## 体系2 現代社会に対応した学び

### 1 高度情報化に対応する学習機会の充実

高度情報化に対応する  
学習機会の充実

青少年期の学び P8

体系上の関連項目とその掲載ページを表記しています（関連性がある場合のみ）

#### 現況と課題

パソコン、スマートフォン、タブレット端末などの情報機器の普及や光回線等の高速回線の整備に伴うブロードバンド環境の充実により、どこでも誰でもインターネットを利用できる社会が実現した現在、ICT機器を使いこなせる者と使いこなせない者のデジタル・ディバイド<sup>1</sup>が課題となっています。

現在、市立公民館や働く女性の家などで、初心者向けのパソコン講座やスマートフォン講座、携帯安全教室、が実施されているほか、民間事業者の専門的なパソコン講座も行われています。

一方、情報モラルの欠如、著作権や知的財産権の侵害の問題が、特に子どもや高齢者の利用に当たって指摘されています。

インターネットが今後ますます必要になる中で、特に高齢者や低所得者を中心に存在するデジタル・ディバイドの解消に向けて、生涯学習施設での講座などを引き続き開設し、市民のICTリテラシー<sup>2</sup>の向上を支援することが必要です。

また、スマートフォンなどの情報通信機器の飛躍的な発展・普及に伴い、特に子どもたちのトラブルや犯罪に関わる事例が急増しています。そうした状況から子どもたちを守るため、インターネットの適正利用について、啓発していく必要があります。

【現況と課題】  
現況と課題について、表記しています。

#### 具体的な取組

##### 取組内容

第四次長野市高度情報化基本計画に基づき、市民のICT利活用に対する各事業を支援します。

デジタル・ディバイド解消のための学習機会の充実と学習環境の整備を進めます。

生涯学習施設の情報化を推進し、利便性の向上を図ります。

インターネットの適正利用や情報モラルについて学びの場を提供するなど啓発を進めます。

##### 担当課

情報政策課

障害福祉課  
人権・男女共同参画課  
家庭・地域学びの課  
家庭・地域学びの課

再掲 P8

家庭・地域学びの課  
学校教育課  
長野図書館  
南部図書館

【担当課】  
取組に関わる事業を実施している主な課を表記しています。

【取組内容】  
課題に対する具体的な取組を表記しています。

【関連計画】  
施策に関連した市の他の計画がある場合は、計画の名称を表記しています。

第四次長野市高度情報化基本計画

関連計画があります。

【再掲】  
同じ取組が既に掲載されている場合は、「再掲」と表記し、同じ取組の掲載ページを表記しています。

【注釈】  
分かりづらい言葉の解説を表記しています。

<sup>1</sup> デジタル・ディバイド：パソコン、インターネットなどの情報技術を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる格差のこと。情報格差とも言う

<sup>2</sup> ICTリテラシー：ICTは、情報や通信に関する技術の総称。ICTリテラシーは、単なるICTの活用・能力のみならず、メディアの特性を理解する能力、メディアにおける送り手の意図を読み解く能力、メディアを通じたコミュニケーション能力までを含む概念

# 目次

## 第1編 序論 策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の目標年次	2
3 計画の位置づけ	2
4 計画の策定体制について	2
5 計画の推進と評価	2

## 第2編 計画の推進

1 長野市の生涯学習の目指すべきもの	3
2 施策の展開	3
3 施策の体系	4

## 第3編 第一次長野市生涯学習推進計画の点検・評価 5

## 第4編 第二次長野市生涯学習推進計画

施策1 市民のニーズに応える学習環境づくり ～今を充実させ、未来をひらく～	
体系1 ライフステージに応じた学び	7
体系2 現代社会に対応した学び	13
施策1 主な取組の目標値	16
施策2 市民の学びを生かす地域づくり ～生涯学習の成果を生かす～	
体系1 文化芸術の振興、文化財・伝統行事の保護と伝承	17
体系2 スポーツの振興と健康づくりの推進	18
体系3 地域の魅力と住み良いまちづくりの推進	20
体系4 男女共同参画の推進、人権意識の高揚	21
体系5 国際化・多文化共生の推進	23
体系6 環境・防災意識の高揚、消費生活の安全確保	25
体系7 ボランティア活動の推進	29
体系8 学習成果を生かした地域づくりへの参加促進	32
施策2 主な取組の目標値	34
施策3 市民の学びを支える体制づくり ～学習しやすい仕組みをつくる～	
体系1 生涯学習推進体制の整備	35
体系2 生涯学習支援の充実	36
体系3 生涯学習施設の充実	38
体系4 地域活動への支援	42
体系5 家庭・地域・学校の連携・協働による教育力の向上	43
施策3 主な取組の目標値	46
資料	47

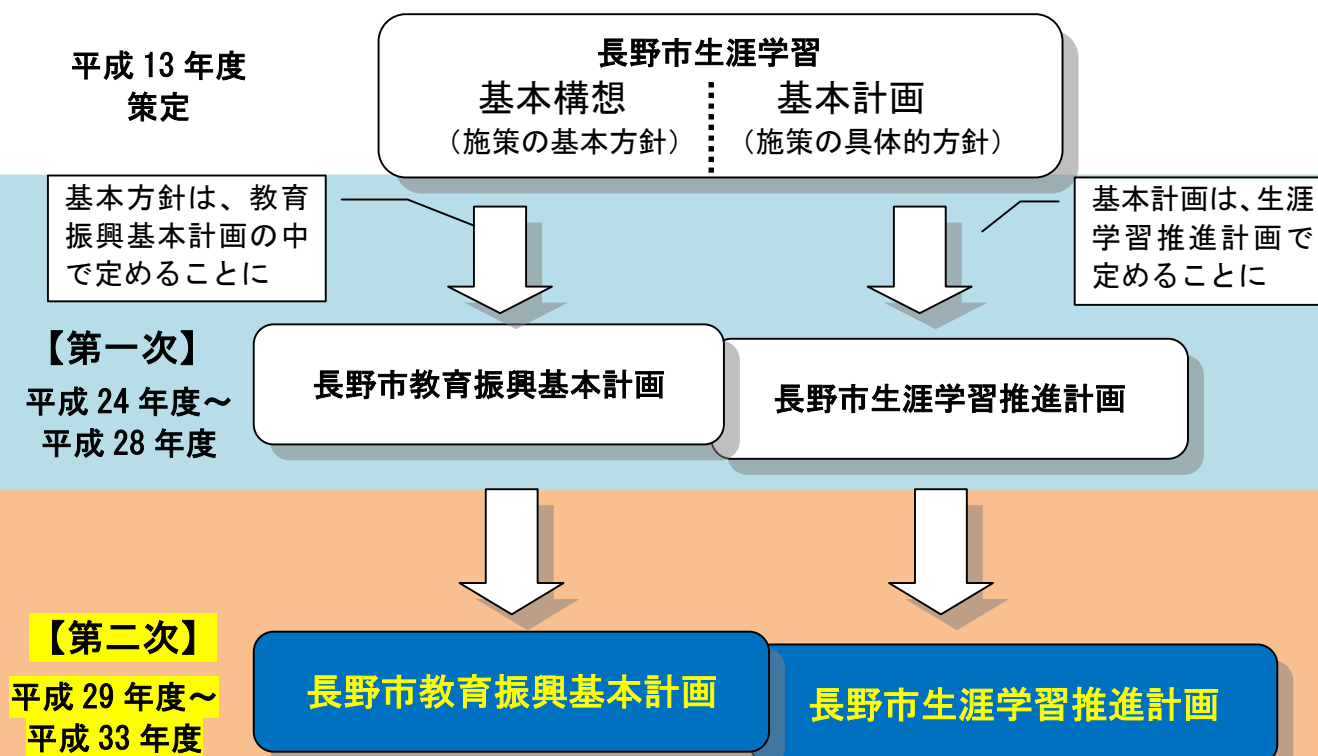
# 第1編 序論 策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

本市は、だれもが生涯にわたり自発的に学習することができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会の実現を目指し、平成13年度に「長野市生涯学習基本構想・基本計画」を策定しました。その後、少子・高齢化や高度情報化、国際化などの進展、指定管理者制度の導入など、本市の生涯学習を取り巻く環境が多様化し大きく変化してきたことから、「長野市生涯学習基本構想・基本計画」をあらためて見直し、新たな時代における生涯学習振興施策を展開するため、平成24年度に「長野市生涯学習推進計画」を策定しました。

長野市生涯学習推進計画は、長野市教育振興基本計画に基づく生涯学習分野の5カ年の計画です。

この度、長野市生涯学習推進計画策定から計画年の5カ年が経過したことから、これまでの計画の実績、評価に基づき、更なる市民の生涯学習の推進と振興を目指し、次の5カ年に向けた「第二次長野市生涯学習推進計画」を策定したものです。



## 2 計画の目標年次

本計画は、平成29年度（西暦2017年）を始期とし、第五次長野市総合計画の目標年次である平成33年度（西暦2021年）を目標とするものです。

## 3 計画の位置づけ

「長野市生涯学習推進計画」は、「長野市教育振興基本計画」に基づく生涯学習分野の計画とし、本市の最上位計画である「第五次長野市総合計画」との整合性を図りました。

## 4 計画の策定体制について

長野市生涯学習推進計画策定委員会及び庁内検討会議を設置し、施策の現状把握及び分析を行った上で策定しました。

また、「長野市生涯学習推進計画」の基本方針は、「長野市教育振興基本計画」の中で定めることから、両計画共に同じ策定委員により並行して策定しました。

## 5 計画の推進と評価

本計画の推進に当たっては、多様化する市民ニーズや社会・経済環境の変化に対応し、実効性のあるものとするため、目標となる指標の達成状況について、庁内調査を実施し進捗状況の点検・評価を行います。

この評価をもとに、必要に応じ事業内容及び手法などの改善を図り、計画的・効果的に施策や事業の推進をします。

- ※1 **長野市教育振興基本計画**：教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として位置づけ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づく教育等に関する「大綱」。
- ※2 **教育振興基本計画の関連計画等**：
  - 学校教育関係 （しなのきプラン29）
  - 生涯学習関係 （第二次長野市生涯学習推進計画、第二次長野市子ども読書活動推進計画、長野市立図書館基本計画）
  - 文化芸術・スポーツ関係 （第二次長野市文化芸術振興計画、第二次長野市スポーツ推進計画）

# 第2編 計画の推進

## 1 長野市の生涯学習の目指すべきもの

生涯学習は、自らの意思に基づき、自己に適した手段・方法を選んで行われる活動です。それは学校や社会の中での学習にとどまらず、スポーツや文化活動の中でも行われるものであり、自己の充実はもちろん、その成果は社会に生かされ、まちづくりを推進していく力となります。

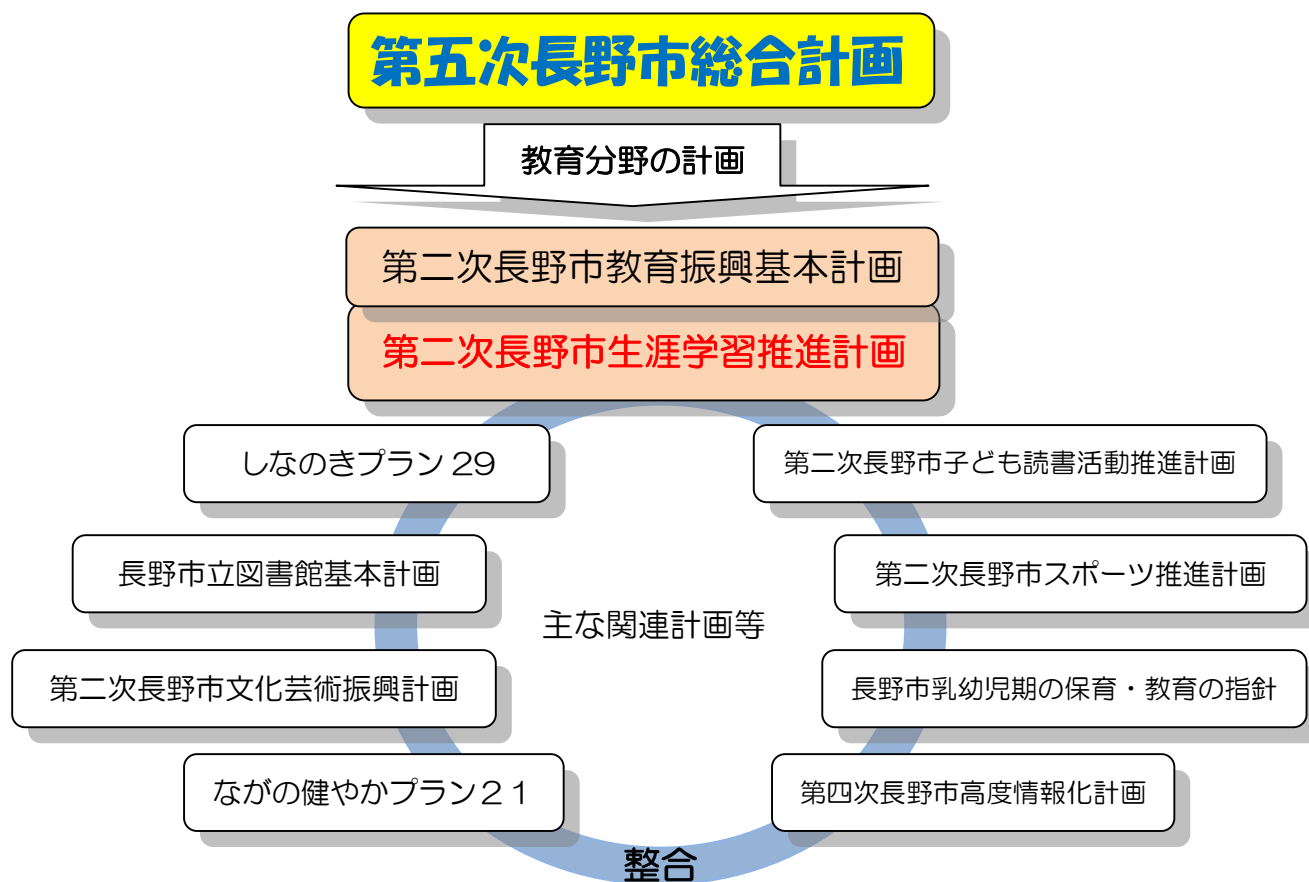
本市は、市民一人一人が、地域の良さを理解して、人と人との絆を結ぶ学習など、生涯のあらゆる場面での学習を深めることで豊かな生活につながるよう、学習の場の提供を図り、併せて、生涯学習施設の連携・協力を進め利便性の向上を図ることを目的に、平成24年度に「長野市生涯学習推進計画」を策定しました。

この計画を通じ、市民が、生涯にわたり、いつでも、どこでも自由に学ぶことができるよう生涯学習を推進するとともに、学習活動を通じた人のつながりや学びの成果を、社会や地域で生かし、活力ある地域づくりにつなげることができるまちを目指します。

## 2 施策の展開

市の総合計画に基づく計画であるとともに長野市教育振興基本計画に基づく、生涯学習分野についての計画です。

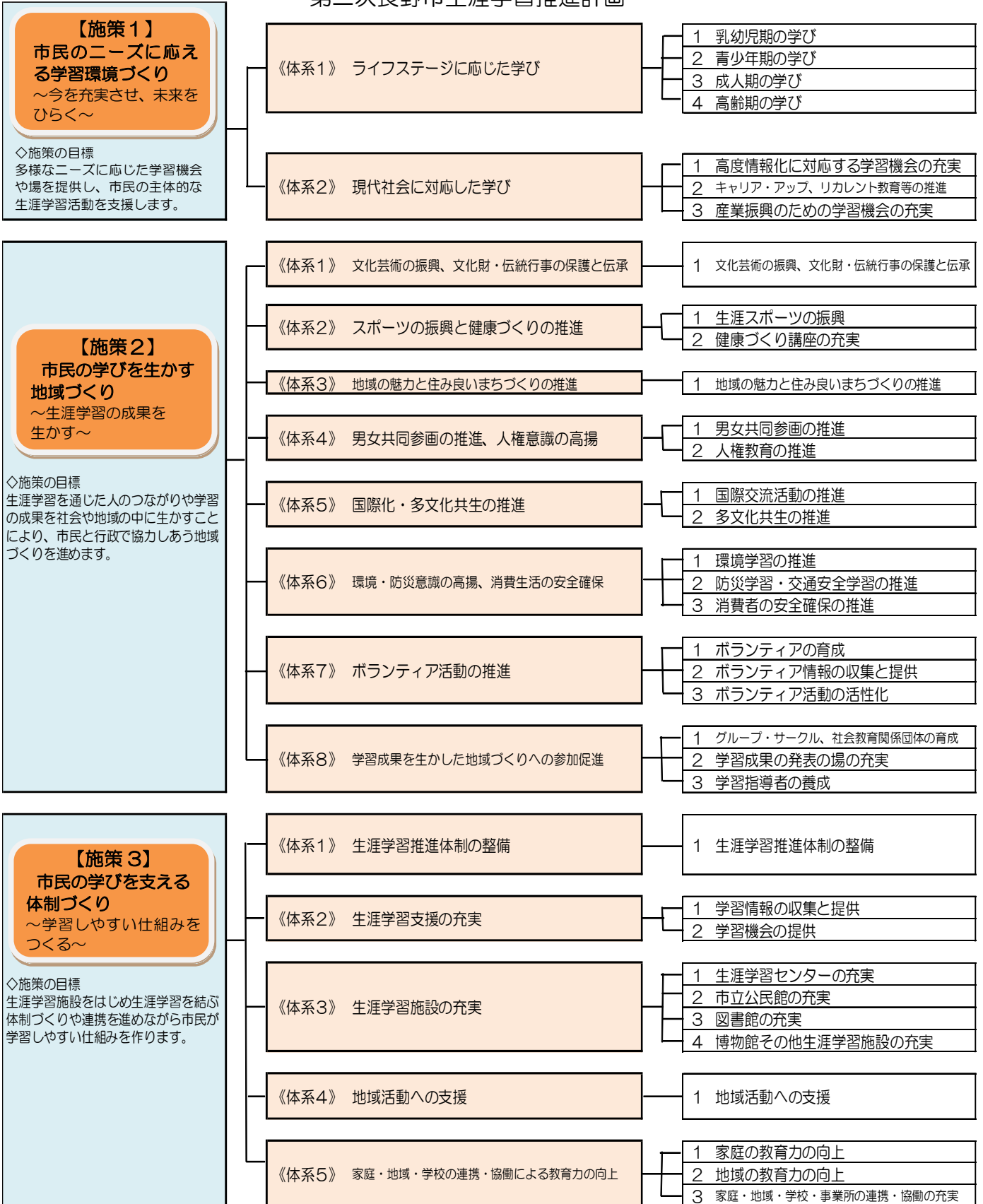
また、生涯学習に関わる他の計画との整合性も図っています。





3 施策の体系

第二次長野市生涯学習推進計画



## 第3編 第一次長野市生涯学習推進計画の点検・評価

生涯学習推進計画の推進にあたっては、多様化する市民ニーズや社会・経済環境の変化に対応し、実効性のあるものにするため、進捗状況を把握する必要があります。

そこで、生涯学習推進計画には、主な項目に数値目標を掲げ、目標値に基づく点検・評価を実施することで、進捗状況を把握することとしました。

平成26年度に第一次長野市生涯学習推進計画の中間点検・評価を実施しましたが、その結果は次のとおりです。

この点検・評価の結果を踏まえ、第二次長野市生涯学習推進計画を策定しました。

### 【第一次長野市生涯学習推進計画 中間評価（平成27年度実施）】

※達成状況

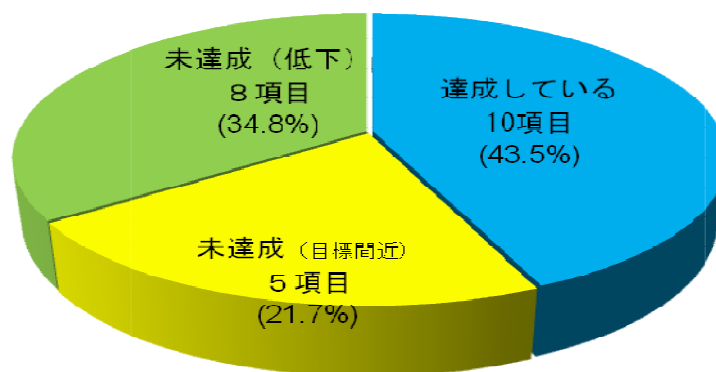
◎…目標達成 ○…未達成であるが目標間近（実績値向上） △…未達成（実績値低下）

施策	指標項目	28年度 目標値	26年度 実績値	達成状況
1 市民が自ら学べる環境づくり	1 市立公民館での子育て講座の開催回数	350回	354回	◎
	2 地域子育て支援センター及び子ども広場の利用者数	150,000人	133,886人	△
	3 「おひざで絵本」事業での絵本配布率	95.0%	88.4%	○
	4 市立公民館での家庭教育講座の年間開催回数	370回	446回	◎
	5 家庭教育支援事業への年間参加者数	20,000人	19,954人	○
	6 少年科学センター年間入館者数	93,200人	106,973人	◎
	7 青少年錬成センター年間利用者数	15,300人	14,941人	○

施策	指標項目	28年度 目標値	26年度 実績値	達成状況
2 市民と行政で協力しあう地域づくり	1 週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	69.6%	56.1%	○
	2 市民会館等市有の文化・芸術施設利用者数	520,000人	248,269人	△
	3 環境学習会年間参加者数	3,100人	4,839人	◎
	4 国際交流コーナーの年間利用者数	14,200人	9,188人	△
	5 人権同和教育に関する各地区住民自治協議会が実施する研修会への年間参加者数	21,000人	14,681人	△
	6 男性の家事（炊事・掃除・洗濯・買い物など）への参画率	80.0%	67.1%	△
	7 市立公民館における地域の魅力発見のための講座年間開催回数	200回	244回	◎
	8 市立公民館におけるコミュニティ活動リーダー育成のための講座年間開催回数	29回	42回	◎

施策	指標項目	28年度 目標値	26年度 実績値	達成状況
3 市民と行政で 支えあう生涯 学習	1 生涯学習センターの年間利用者数	180,000人	188,061人	◎
	2 生涯学習センターの平均稼働率	70.0%	68.1%	○
	3 放送大学長野ランチ（センター外視聴施設）年間利用者数	1,500人	1,051人	△
	4 市立公民館の年間利用者数	1,086,000人	1,027,790人	△
	5 市民一人当たりの市立図書館貸出冊数	4.7冊	4.0冊	△
	6 インターネットによる図書館資料予約件数	52,000件	54,595件	◎
	7 市立図書館点字・録音図書貸出数	2,500点	3,395点	◎
	8 市立図書館おはなし会参加物数	2,700人	2,990人	◎

## 【指標達成状況】



## 【指標の達成状況】

指標は、各施策ごとに7～8の指標項目を抽出し、目標値を設定しています。

中間点検・評価の結果では、全23指標のうち、10項目で目標を達成し、13項目は計画策定時の目標値を下回っていますが、その内5項目は、目標に近付いています。

## 【考察及び課題】

施策1の達成状況は、7項目の内、6項目が「達成」「目標間近」であることから、目標に向け順調に取組が進んでいると考えられます。

一方、施策2、施策3については、「未達成（低下）」の割合が高いため、第二次計画の中で、推進に向けた取組の検討をする必要があります。

生涯学習の拠点とも言える市立公民館については、子育て講座をはじめとする各種講座の開催回数がいずれも目標を達成していることから、講座の充実が図られていると考えられます。

しかし、市立公民館の年間利用者の数は、減少傾向にあるため、人口減少が進む中、一人一人の自発的な学びのきっかけとなるような講座・研修会の企画や周知をさらに進め、施策を着実に推進する必要があります。

## 第4編 第二次長野市生涯学習推進計画

### 施策1 市民のニーズに応える学習環境づくり ～今を充実させ、未来をひらく～

◇ 施策の目標：多様なニーズに応じた学習機会や場を提供し、市民の主体的な生涯学習活動を支援します。

#### 体系1 ライフステージ<sup>1</sup>に応じた学び

##### 1 乳幼児期<sup>2</sup>の学び

乳幼児期に応じた学び

家庭の教育力の向上 P43

地域の教育力の向上 P44

#### 現況と課題

生涯にわたる人間形成の上で大きな意味を持つのが乳幼児期の生活環境です。

乳幼児の学びの場としては、幼稚園、保育所、認定こども園などがあります。集団遊びなどの中で経験する人と人との関わりは、将来の人間形成にとって極めて価値があるとともに、遊びを通じた身体活動は、運動能力や五感の育成にも重要です。しかし、就園前の子どもを含め、学習の大部分は、家庭にゆだねられています。ところが、今日、核家族化・少子化、保護者の意識の変化などによって、しつけや基本的な生活習慣などに関する家庭の教育力の低下が指摘されています。

このため、保護者が子育ての知識や技術を身に付ける機会が求められており、その機会を提供していくことが必要になっています。現在、保健センターなどでは各種相談のほか、「マタニティセミナー」、「健康教室」、「親子よい歯サポート教室」などが、市立公民館では、「家庭教育講座」などが行われており、市内の幼稚園、保育所、認定こども園では、おひさま広場<sup>3</sup>として園開放や育児相談、講演会等が行われるなど、より身近な場所での子育て支援が行われています。また、地域子育て支援センターやこども広場においても、子育て相談や各種イベントを開催し、市立公民館でも「親子学級」<sup>4</sup>の実施や育児サークルに施設の開放をしており、交流と情報交換の場となっています。また、各保健センターで開催されている7～8か月児健康教室では、長野市版ブックスタート<sup>5</sup>「おひざで絵本」事業や「家庭の学び講座」を実施しています。

ライフスタイルが多様化する現代において、多くの保護者がこれらの講座に参加することができるように、講座の回数増加、開催日、開催時間の工夫などが必要です。また、親子で参加できる講座や託児の実施など、内容にも配慮する必要があります。

1 ライフステージ：人間の一生を乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期などに分けたそれぞれの段階

2 乳幼児期：0歳から6歳（就学前）まで

3 おひさま広場：保育所や幼稚園で、育児相談や園開放、在園児との交流や講演会等を実施している

4 親子学級：公民館が主催の親子を対象とした学びの場。親子料理教室や親子工作教室等、親子で楽しみながら学べる講座等

5 ブックスタート：地域に住むすべての赤ちゃんと保護者に、絵本と触れ合うことの大切さや楽しさを伝えながら絵本を手渡す運動



**具体的な取組**

取組内容	担当課
「第二次長野市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会の充実や読書活動を行うための環境の整備・充実に努めます。	家庭・地域学びの課
おひざで絵本事業の一層の推進を図り、乳幼児期から絵本と触れ合うことの大切さや楽しさを伝えます。	家庭・地域学びの課
「マタニティセミナー」、「健康教室」、「家庭の学び講座」、「親子よい歯サポート教室」などの出産・子育てに関する学習機会の提供や各種相談を推進します。	保健所健康課 家庭・地域学びの課
「長野市乳幼児期の教育・保育の指針」に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園での集団生活・遊びを通して、未来を担う子どもたちの生涯にわたる人格形成の基礎を培います。	保育・幼稚園課
仕事を持つ保護者が、学習活動への参加ができるように、開催日、開催時間に配慮します。	家庭・地域学びの課
父親の育児参画を推進するために、男性も子育てに参加しやすい体制づくりを進めるとともに、積極的な育児参画に向けた意識の啓発を図ります。	産業政策課 人権・男女共同参画課 子育て支援課 こども政策課
おひさま広場を全ての幼稚園・保育所・認定こども園で実施するとともに、地域子育て支援センターの増設を進めます。	保育・幼稚園課
市立公民館では、地域の人材を活用し、子育て経験者が子育て中の保護者に対してアドバイスや支援を行うなど、地域ぐるみの取組を支援します。	家庭・地域学びの課
妊娠、出産や子育てに関する基礎知識など、子育てを支援するための情報を提供します。	子育て支援課

第二次長野市子ども読書活動推進計画

長野市乳幼児期の教育・保育の指針

長野市子ども・子育て支援事業計画

関連計画・指針があります。

## 2 青少年期<sup>6</sup>の学び

青少年期に応じた学び

家庭の教育力の向上 P43

地域の教育力の向上 P44

### 現況と課題

学校教育においては、学習指導要領の基本理念である「生きる力」を育むために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成が重要です。そのために学校教育では自ら学ぶ意欲や社会の変化に対応できる能力の育成、心豊かにたくましく生きる人間の育成、個性を生かす教育の充実など、生涯にわたって学ぶ意欲や能力を育てる、いわば生涯学習の基礎を培います。

しかし近年、特別な教育的支援を必要とする児童・生徒の増加に伴い、一人一人の教育的ニーズに応じた支援が求められています。

学校教育だけでなく、家庭や地域の連携に基づいた教育も重要です。本市では、市民ボランティアの参画を得て、放課後等の子どもたちに遊びや交流、各種体験の場を提供する放課後子ども総合プラン<sup>7</sup>について、児童館等校外施設と小学校内施設等（子どもプラザ）を活用して、小学生の安全で安心な居場所を確保し、子どもたちの人間性がより深く、より豊かになるよう、量的・質的な拡充を図っています。

また、生きる力や命の大切さ、連帯感、思いやりの心などを育て学ぶ様々な体験活動や世代間交流は、子どもたちの健全育成の上で重要です。本市は、異年齢集団の中での体験活動を奨励し、毎年夏には「長野市子ども会キャンプ」を開催しています。自然の中での集団生活を通じ心身を鍛えるとともに、豊かな人間性を育てています。また、地域が主体となって実施する子ども対象の体験活動事業の経費を補助し（子どもわくわく体験事業補助金）、体験活動の推進を図っています。今後も子ども会リーダーの養成や、活動の場や学習情報の提供により、子ども会活動を活発化させる必要があります。

さらに、「長野市子ども読書活動推進計画」に基づき、ボランティアの協力を得て学校や公民館、保健センター等で読書活動を行うなど、子どもの読書環境の充実を図っています。

青年期は悩みや疎外感等を強く感じる時期であると言われてますが、一方、将来への可能性が培われ、あらゆる分野に目を向け、その中から自分が進む方向を模索する時期です。

このため、青年の活動の場として、音楽、スポーツ、ボランティア活動や、国際化、科学技術の高度化に対応するような学習機会を提供していく必要があります。

<sup>6</sup> 青少年期：満18歳までを青少年期とする場合もありますが、この計画では、就学時から成人期（20歳）の前までを想定しています

<sup>7</sup> 放課後子ども総合プラン：児童館等と小学校内施設（子どもプラザ）を活用して、放課後等における小学生の安全で安心な居場所を確保し、遊び・交流・各種体験活動を通じて子どもたちの人間性がより深く、より豊かになることを目指すもの

**具体的な取組**

取組内容	担当課
学校教育は、生涯学習の基礎を培うものであることから、「しなのきプラン29」に基づき、自発的な学習意欲の習得及び地域に開かれた学校づくりを推進します。	学校教育課
障害のある児童・生徒も、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を実現する特別支援教育の充実を図るとともに、幼・保・小・中の連携を強化し、一貫した支援体制の充実を図ります。	学校教育課
いじめのない安心な学校づくり、不登校の未然防止と不登校児童生徒へのきめ細やかな支援のため、学校と家庭を支える相談支援体制の充実を図ります。	学校教育課
異年齢集団での活動を通じ、自主性、社会性を育てるために、子ども会活動への参加を奨励し、問題に直面したときに自ら解決する力を培い、社会的役割や責任の自覚を促す子ども会活動や子ども会リーダーの養成に努めます。	家庭・地域学びの課
放課後子ども総合プランを推進するため、小学校の余裕教室を活用し、希望する全ての児童の受け入れを目指すとともに、遊びや交流、各種体験活動を通じて、子どもたちの人間性がより深く、豊かになるよう取組みの充実を図ります。	子ども政策課
様々な世代が関心を持てる交流事業や世代を越えて受け継ぎたいと感じられる体験活動を実施します。	家庭・地域学びの課
青少年の健全な成長を図るため、学校PTAや市立公民館において、基本的な生活態度の形成やしつけなどについて保護者が学ぶ家庭教育講座などの学習機会を拡充します。	家庭・地域学びの課
図書標準 <sup>8</sup> の全校達成を目指すとともに、図書館や市立公民館等学校以外での読書環境の充実を図り、児童・生徒の読書活動の一層の推進を図ります。	学校教育課 家庭・地域学びの課 長野図書館 南部図書館
「第二次長野市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会の充実や読書活動を行うための環境の整備・充実に努めます。	家庭・地域学びの課 <b>再掲</b> P8
地域の子どもと大人が一緒になって活動する体験事業を支援します。	家庭・地域学びの課

しなのきプラン29

第二次長野市子ども読書活動推進計画

関連計画があります。

<sup>8</sup> 図書標準：文部科学省が学校図書館の充実を図るため、公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準を定めたもの。「学校図書館図書標準」

### 3 成人期<sup>9</sup>の学び

#### 現況と課題

成人は、家庭や地域社会、職場など、あらゆる場面での活躍が期待されます。また、人生の中で長い期間を占めるため、文化・芸術、スポーツ活動などを通じて教養を身につけながら自己を一層成長させることができます。

市内の生涯学習施設では、文化、教養などに関する講座、日常生活や仕事に必要な知識や技術を学ぶ講座やパソコン教室、就職のための資格取得講習会など様々な学習機会を提供しています。その中でも、生涯学習センターにおいては、学社連携による長野県短期大学<sup>10</sup>との共催事業「市民カレッジ」の開催や、楽しみながら身近な疑問の解消を図る「教えて常識塾」、また、郷土についてや社会情勢に応じたテーマで生涯学習意欲を高め、知識を深めるための「トイゴセミナー」などを開催し、多くの方にご参加いただいています。

いずれも、幅広い年齢層が参加することができるように、講座内容の充実や時間、曜日の設定あるいは託児の実施など、更に工夫を重ねていく必要があります。

また、社会経済構造の変化に適應していく上で、常に学び続けることが必要とされています。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
一人一人の課題や学習要求に応じた学習機会の充実を図ります。	家庭・地域学びの課
働いている人が参加しやすい時間帯として土日、夜間の講座開設を進めます。	産業政策課
学習ニーズに対応した多様な学びの場の提供をしていきます。	産業政策課
子どもを持つ人も参加しやすい環境をつくるため、託児サービスの実施に努めるとともに、一時預かり指定園の増設、子育て支援員の養成、ファミリーサポートセンターなどについて積極的に情報を提供していきます。	保育・幼稚園課 家庭・地域学びの課
地域社会の発展のため、地域活動やボランティア活動への積極的な参加を推進します。	家庭・地域学びの課
職業能力の向上を図るための職業訓練を支援するとともに就労に役立つ知識や教養の取得につながる幅広い学びの場を提供します。	産業政策課 家庭・地域学びの課

<sup>9</sup> 成人期：この計画では、満20歳から65歳までを想定しています

<sup>10</sup> 長野県短期大学：平成30年度から県立4年制大学に移行する予定



## 4 高齢期<sup>11</sup>の学び

### 現況と課題

本市においては、平成32年度には約30%が65歳以上となり、本格的な超高齢社会を迎えています。

高齢期には、医療、福祉、就労施策の充実と、生涯学習による仲間づくりや生きがいづくりを通して、高齢者が社会的に孤立することなく社会の重要な一員として、仲間とともに生きがいを持って活躍することが期待されます。

かがやきひろばや市立公民館、中高年齢労働者福祉センター（サンライフ長野）などでは、高齢者学級や趣味、教養、健康などの各種講座・学級が開催されています。また、継続的な学習の場として、大学などと連携し、地域で活躍するために必要な知識と健康づくり方法を実技も交えて学習する講座「ながのシニアライフアカデミー」（2年制）を開講しています。

また、高齢者の仲間づくりの場として、老人クラブをはじめとするグループ・サークルへの支援も行っています。

今後も高齢者の多様な学習要求に応えるための各種講座の充実を図る必要があります。

高齢者が長年培ってきた豊かな経験や知識を次世代に伝承し、社会のために生かすことは、高齢者の生きがいにつながるとともに、地域社会の中でも大いに期待されています。そのためには、生涯学習指導者としての活用やボランティア活動などの社会参加の場を提供していく必要があります。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
高齢者学級をはじめ、高齢者の多様な学習要求に応えるための様々な学習機会の充実を図ります。	高齢者福祉課 産業政策課 家庭・地域学びの課
かがやきひろば、シニアアクティブルームなど、高齢者の教養や趣味の活動の場を充実します。	高齢者福祉課
老人クラブをはじめとするグループ・サークルへの指導や助言をし、生きがい活動などを支援します。	高齢者福祉課
高齢者の長年培ってきた豊かな経験や知識を活用する場を提供するため、長野市生涯学習リーダーバンクを充実し、指導者やボランティアの情報の提供に努めます。	家庭・地域学びの課

第七次長野市高齢者福祉計画  
「あんしんいきいきプラン21」

関連計画があります。

<sup>11</sup> 高齢期：この計画では、満65歳以上を想定しています

## 体系2 現代社会に対応した学び

## 1 高度情報化に対応する学習機会の充実

## 現況と課題

パソコン、スマートフォン、タブレット端末などの情報機器の普及や光回線等の高速回線の整備に伴うブロードバンド環境の充実により、どこでも誰でもインターネットを利用できる社会が実現した現在、ICT機器を使いこなせる者と使いこなせない者のデジタル・ディバイド<sup>12</sup>が課題となっています。

現在、市立公民館や働く女性の家などで、初心者向けのパソコン講座やスマートフォン教室、携帯安全教室、が実施されているほか、民間事業者の専門的なパソコン講座も行われています。

一方、情報モラルの欠如、著作権や知的財産権の侵害の問題が、特に子どもや高齢者の利用に当たって指摘されています。

インターネットが今後ますます必要になる中で、特に高齢者や低所得者を中心に存在するデジタル・ディバイドの解消に向けて、生涯学習施設での講座などを引き続き開設し、市民のICTリテラシー<sup>13</sup>の向上を支援することが必要です。

また、スマートフォンなどの情報通信機器の飛躍的な発展・普及に伴い、特に子どもたちのトラブルや犯罪に関わる事例が急増しています。そうした状況から子どもたちを守るため、インターネットの適正利用について、啓発していく必要があります。

## 具体的な取組

取組内容	担当課
第四次長野市高度情報化基本計画に基づき、市民のICT利活用に対する各事業を支援します。	情報政策課
デジタル・ディバイド解消のための学習機会の充実と学習環境の整備を進めます。	障害福祉課 人権・男女共同参画課 家庭・地域学びの課
生涯学習施設の情報化を推進し、利便性の向上を図ります。	家庭・地域学びの課 長野図書館 南部図書館 博物館
インターネットの適正利用や情報モラルについて学びの場を提供するなど啓発を進めます。	家庭・地域学びの課 学校教育課 長野図書館 南部図書館

第四次長野市高度情報化基本計画

関連計画  
があります。

<sup>12</sup> デジタル・ディバイド：パソコン、インターネットなどの情報技術を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる格差のこと。情報格差とも言う

<sup>13</sup> ICTリテラシー：ICTは、情報や通信に関する技術の総称。ICTリテラシーは、単なるICTの活用・操作能力のみならず、メディアの特性を理解する能力、メディアにおける送り手の意図を読み解く能力、メディアを通じたコミュニケーション能力までを含む概念

## 2 キャリア・アップ、リカレント教育等の推進

### 現況と課題

経済・社会構造の変化などに対応して、多くの人がキャリア・アップ<sup>14</sup>や現代に必要な技能の向上を図るため生涯を通じて学び続けることが必要だと考えるようになっており、生涯学習に対する意欲は高まっています。

急激な社会の変化に対応できる職業人の育成を図るために、本市では働く女性の家などにおいて、医療事務や起業、コミュニケーション等キャリア・アップの講座を積極的に展開しています。今後も引き続き、学習情報の提供や学習機会の拡充、企業による生涯学習関係事業の拡充、推進を図る必要があります。

さらに、個人の学習時間確保のために、学習のための休暇制度、スクーリング<sup>15</sup>への参加に対する理解・支援が期待されます。また、教育訓練給付制度<sup>16</sup>など社会人のための助成制度も設けられており、これらの制度について周知を図っていくことが必要です。

今後は、多様化する市民の学習要望に対応するため、大学・短期大学、高等専門学校、専修学校・各種学校等での社会人の受け入れや多彩な公開講座の実施、講師の派遣などが期待されます。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
職業技術の習得を含め、個人がキャリア・アップするための学習機会を充実します。	人権・男女共同参画課
大学や短期大学、専修学校・各種学校の公開講座等の情報提供を行い、リカレント教育 <sup>17</sup> の機会を一層充実します。	家庭・地域学びの課

<sup>14</sup> キャリアアップ：社会的・職業的自立に向け必要となる能力を高めること

<sup>15</sup> スクーリング：通信教育の1つの過程として、受験生を一定期間学校に集めて行う面接授業

<sup>16</sup> 教育訓練給付制度：雇用の安定・就職の促進を図るため、厚生労働省が実施する職業訓練支援の制度。この制度を利用して厚生労働省指定の講座を受講すると、受験生本人が支払った教育訓練経費の20%に相当する金額が至急される

<sup>17</sup> リカレント教育：経済協力開発機構（OECD）が提唱した生涯教育の一形態。学校教育を終えて社会の諸活動に従事してからも、個人の必要に応じて教育機関に戻り、繰り返し再教育を受けられる、循環・反復型の教育システム

### 3 産業振興のための学習機会の充実

#### 現況と課題

長野市の農業は、恵まれた自然条件や都市近郊型の利点を生かして発展してきました。農業を担う人づくり・組織づくりを進め、農業者が地域の特性を生かして創意工夫し、意欲的に農業経営に取り組むことができるように育成・支援することが必要です。

本市では、意欲的に農業に取り組んでいる専業農業者で今後とも地域のリーダーとして活躍が期待される人物を認定、奨励金を交付しています。

さらに、新たな農業の担い手を確保・育成するため、農業研修センターを開設し、多様な人材の就農に向けたサポートを行うとともに、就農前の研修を受け、新規に就農する者に助成金を交付するなど、積極的に新規就農者への支援を行っています。

また、市民の身近な憩いの場や余暇の場として市民農園・市民菜園の充実を図り、農業の楽しみを生かして健康づくりや生きがいづくりを図ることが期待されています。

一方、商工業等産業分野においても人材の育成や、企業などとの連携による更なる活性化が求められています。

新たに事業を始めたいと考えている人、企画・アイデアを実現したいと思っている人を対象に「実践起業塾」を開催するほか、大学と共同で将来的に地域の食品産業の活性化を担う人材を育成するため、「ながのブランド郷土食」事業を展開しています。

また、善光寺平圏域の様々な産業を紹介する「産業フェア in 善光寺平」では、高校生の見学会や小中学生を対象とした長野工業高等学校生の指導によるものづくり体験など、次代を担う学生・生徒たちのものづくりへの興味を高める催しの充実を図っています。

さらに、食品は、市民の生活や生命に密接な関係を持っており、加工、流通、調理などの各段階において安全性を確保することが重要です。このため、食品衛生に関する情報提供と意識啓発を図ることが必要となっています。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
農業研修センターにおいて、多様な人材を農業の新たな担い手として育成します。	農業政策課
次代を担う農業者の育成のため、農業や食文化の学びの場の充実を図ります。	農業政策課
起業塾の拡充を図り、創業を目指す人に学びの場を提供します。	産業政策課
地元の産業や地産地消に対する興味や意識を高めるための学びの場を提供します。	産業政策課
食品衛生について、正しい知識の普及を図るための学習機会を提供します。	保健所食品生活衛生課



主な取組の目標値

施策1

市民のニーズに応える学習環境づくり ～今を充実させ、未来をひらく～

◇ 施策の目標 多様なニーズに応じた学習機会や場を提供し、市民の主体的な生涯学習活動を支援します。

指標項目	現状値 (H27)	目標値 (H33)
保健センターでの「家庭の学び講座」受講割合 (受講者数/対象者)	(新規事業)	88.0%
「おひざで絵本」事業での絵本配布率	90.0%	95.0%
子どもわくわく体験事業補助金の交付件数	107件	120件
勤労青少年ホーム利用者数	75,285人	90,000人
高齢者団体の公民館利用回数	3,750回	3,800回
市立公民館における、ICT利活用講座、犯罪・セキュリティ対策、SNS利用啓発等講座の開催数	92回	95回

## 施策2 市民の学びを生かす地域づくり ～生涯学習の成果を生かす～

- ◇ 施策の目標：生涯学習を通じた人のつながりや学習の成果を社会や地域の中に生かすことにより、市民と行政で協力しあう地域づくりを進めます。

### 体系1 文化芸術の振興、文化財・伝統行事の保護と伝承

文化芸術は、郷土への愛着を醸成し、次代を担う子どもたちが、思いやりといつくしみの心を持つ、豊かな感性を育むとともに、人間が持っている本来の優しさと温もりを育みます。

本市では、平成28年5月に、文化芸術の拠点となる長野市芸術館が開館し、久石譲芸術監督による「アートメントNAGANO」など、長野市芸術館を中心とした多彩な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、表参道芸術音楽祭や街角アート&ミュージック、伝統芸能継承事業など、常に街角に芸術と音楽があふれるまちづくりを進めています。

また、様々な文化芸術活動に対する若者の積極的な参加が重要であるため、子どもたちを対象とした創造力や感性を育む文化芸術活動の支援を行い、個々の持っている能力を引き出し、感性を磨き、創造性豊かな人間形成を推進します。

文化芸術の振興とともに、貴重な文化遺産や伝統芸能の継承も重要です。

本市では、市内にある指定文化財をはじめとする有形・無形の歴史・文化遺産を適切に保存・継承し、観光やまちづくりに活用するほか、少子・高齢化により後継者不足が生じている地域の伝統芸能の継承と後継者の育成を図る必要があります。

今後、多くの市民が気軽に発表し鑑賞できる場の提供が求められており、更なる文化芸術事業の進展が期待されています。

本項目における方策の展開と具体的な取組については、「第二次長野市文化芸術振興計画」で述べています。



第二次長野市文化芸術振興計画

関連計画があります。

## 体系2 スポーツの振興と健康づくりの推進

### 1 生涯スポーツの振興

本市の高齢化率は、全国に比べると若干高い状態です。近年、健康寿命の延伸や社会保障費の抑制といった観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが注目されています。健康寿命の延伸のためには、高齢者の健康の維持はもとより、勤労世代からの生活習慣病予防や年少時からの健康な心身の育成が求められます。

世代や体力に応じたスポーツや運動の普及には、居住エリアに近い場所でスポーツをする場を増やしていくことが重要です。スポーツ推進委員<sup>18</sup>を養成するとともに、総合型地域スポーツクラブ<sup>19</sup>や公民館等と連携しながら草の根的なスポーツの拡がりを促進していくことが重要です。

本項目における方策の展開と具体的な取組については、「第二次長野市スポーツ推進計画」で述べています。



第二次長野市スポーツ推進計画

関連計画  
があります。



<sup>18</sup> スポーツ推進委員：本市の、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整、市民に対するスポーツの実技指導・助言等を行う、スポーツ基本法に基づいた市の非常勤職員

<sup>19</sup> 総合型地域スポーツクラブ：身近な生活圏である中学校区程度の地域において、学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点としながら、年代・性別・技術レベルに関係なくだれもが気軽に参加できる地域住民が主体的に運営するスポーツクラブ

## 2 健康づくり講座の充実

### 現況と課題

平成27年度の長野市まちづくりアンケートでは、生涯学習をする目的として「老化防止や健康増進・ストレスの解消のため」と回答した方が45.6%と最も高く、特に年齢層が高くなるほどその傾向が高いことがうかがわれました。

保健所と保健センターでは、健康増進のための講演会、出前講座、健康相談、歯科相談、栄養指導などを行っています。また、心の健康づくりに関する講演会や結核予防・HIV/エイズ予防の講演会も開催しており、市立公民館においても各種健康講座を開催しています。

さらに、食品衛生の正しい知識を身につけるため、食品衛生講習会やきのこ中毒防止展示会も開催しています。

スポーツ施設等においても、健康づくりのための教室を開催していますが、今後も、あらゆる世代の市民が生涯学習や社会参加を通じて、生きがい・健康づくりに取り組むことができるように、また、スポーツ（運動）に親しむことにより、健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、身近な場所で気軽に参加できる機会の充実を図る必要があります。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
第三次長野市健康増進計画・食育推進計画「ながの健やかプラン21」に基づき、市民の健康づくりに関わる健康教育を推進します。	保健所健康課
市立公民館において、健康に関する各種情報の提供や学習機会の充実を図り、気軽に参加できるような年齢段階に応じた健康教育、予防教育を推進します。	家庭・地域学びの課
健康に関して、各種情報の提供や講演会や健康教室の開催、運動指導、栄養指導の実施などの学習機会を拡充し、保育所、幼稚園、学校、企業等との連携のもとに、気軽に参加できるような年齢段階に応じた健康教育、肥満等生活習慣病の原因に対する予防教育を推進します。	保健所健康課 家庭・地域学びの課 スポーツ課
生活習慣病、結核、HIV/エイズ、心の健康づくりなどに関する学習機会を、医療機関等との連携のもとに提供していきます。	保健所健康課
食品衛生について、正しい知識の普及を図るため、及び薬の正しい使い方、薬物の乱用防止、献血意識の高揚を図るための学習機会を提供します。	保健所食品生活衛生課

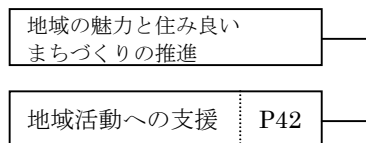
第三次長野市健康増進計画・食育推進計画  
「ながの健やかプラン21」

関連計画が  
あります。



**体系3 地域の魅力と住み良いまちづくりの推進**

**1 地域の魅力と住み良いまちづくりの推進**



**現況と課題**

本市は、平成17年1月に豊野町、戸隠村、鬼無里村、大岡村と、また平成22年1月には信州新町、中条村と合併し、市域が拡張しました。

その結果、妙高戸隠連山国立公園をはじめとする美しい山並みに四方を囲まれ、日本アルプスの清流を集める犀川と詩情豊かな千曲川など、四季折々の大自然の恩恵を受けています。

それぞれの地域には、市街地、住宅地、中山間地などの地域特性もあり、市民のニーズも様々です。本市では、平成22年度から、地区の特性を生かした活動を総合的に行う住民主体の自治組織「住民自治協議会」を市内全32地区で設立し、市民と市の協働のもと、各地区で活動を進めています。

東京の一極集中が問題となる中、特に若い世代のふるさと志向を高め、地元定着やUターンを促す必要があります。

市民が「我がまち」に誇りと愛着を持った地域づくりを行うためには、長野市の資源（自然、歴史、文化、産業、生活、人材等）を楽しく学ぶことにより、郷土の特性や魅力を見直し、愛着心を育む中で一人一人が誇りと自信を持って、その良さを再認識することが大切です。

まちなみは、地域の顔ともいえるものであり、市民が誇りと愛着を持って住むことのできる景観の創出が必要です。

本市では、魅力あるまちづくりの推進を図り、優れた景観の形成に寄与した団体などを表彰する「長野市景観賞」を設置しているほか、景観・花と緑フォーラム、景観賞表彰作品めぐりなどを開催しています。

高齢者や障害者の生活を豊かにするためには、スポーツや文化芸術活動を含め、生涯学習の場や機会の充実を推進し、いきいきと生活できる環境が必要です。

**具体的な取組**

取組内容	担当課
市民の自主的、自発的なまちづくり活動を積極的に支援します。	地域活動支援課
景観に関する学習機会の充実を図り、市民の景観に対する関心を高めます。	まちづくり推進課
本市の様々な分野や地域の魅力を児童・生徒に伝えるため、産業や歴史、文化、人物などを学ぶ取組を推進します。	学校教育課
市民が郷土史に関心を持ち、日本の文化や歴史について学ぶ機会を拡充します。	家庭・地域学びの課



## 体系4 男女共同参画の推進、人権意識の高揚

### 1 男女共同参画の推進

#### 現況と課題

社会制度や慣習の中には、いまだに「男性は仕事、女性は家事・育児」といった性別による固定的な役割分担意識が根強く残っています。このような社会制度や慣習、性別役割分担意識を改め、男女がお互いの人権を尊重し、女性も男性も対等な社会の構成員として社会の各分野における活動の機会が確保され、様々な利益を享受し責任も共に担う男女共同参画社会の実現が求められています。

本市では、男女共同参画センターを設置し、男女共同参画意識を醸成するため、講演会や市民の参画型講座、地域や企業・団体などの行う研修会（セミナー）への講師の派遣などを実施しています。

その他にも、男女共同参画の視点に立った学習機会を提供するため、「男性の料理教室」（働く女性の家）や「女性のためのリーダー養成講座」（男女共同参画センター）などを開催しています。

これらの講座は市民の意識を啓発するための重要な講座であり、今後も更に学習機会の提供に努めていくことが必要です。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
男女共同参画のための意識・啓発を行うため、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた講演会を開催するなど、多様な学習機会を提供します。	人権・男女共同参画課
市立公民館や働く女性の家をはじめとする生涯学習施設等では、男女共同参画の視点に立った学習機会の提供や支援に努めます。	人権・男女共同参画 家庭・地域学びの課
男女共同参画意識を育てるとともに、人権感覚を磨き、深く豊かな人間性を育む学校教育を推進します。	学校教育課 人権・男女共同参画課
子育て中の保護者に学習機会を提供するため、託児サービスを充実するなど学習環境の整備を図ります。	人権・男女共同参画課 家庭・地域学びの課

第三次長野市男女共同参画基本計画

関連計画が  
あります。

## 2 人権教育の推進

### 現況と課題

差別のない社会、誰もが安心して生活することができる社会の構築が求められており、行政が責任を持って取り組んでいくことが重要です。差別のない明るい長野市を築くため、市民一人一人が、人権感覚を高め、差別の解消に向けて積極的にこの問題に取り組む、合理的な考え方や豊かな人間性を備えた人間として成長することが大切です。

本市では、市民対象の「人権を尊重し合う市民のつどい」や人権教育講座など、同和問題をはじめとするあらゆる差別<sup>20</sup>を解消するための学習を市立公民館や隣保館などで行っています。また、各地区住民自治協議会では、人権教育指導員を必ず配置するとともに、人権教育研修会や住民集会を開催しています。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
生涯学習のあらゆる機会を通じた人権教育・人権学習の拡充に努めます。また、各地区住民自治協議会内の人権教育啓発担当とも連携しながら推進します。	人権・男女共同参画課 家庭・地域学びの課
障害者への正しい理解を深めるための学習の機会を提供するとともに、障害のある人とない人のふれあいの場の拡充に努めます。	障害福祉課 保健所健康課
障害者や高齢者、外国人などが学習活動に参加することができる学習環境の整備や学習機会の充実に努めます。	秘書課国際室 障害福祉課 長野図書館

長野市人権政策推進基本方針

関連方針があります。

<sup>20</sup> あらゆる差別：この中には、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、HIV感染者・ハンセン病患者、犯罪被害者等に対する差別などを含む

## 体系5 国際化・多文化共生の推進

## 1 国際交流活動の推進

## 現況と課題

冬季オリンピック・パラリンピックの開催以来、本市の国際化は大きく進展し、一校一  
国運動など大きな成果を上げました。これらの成果を更に発展させるためには、今後も国  
際的視野を深める学習機会の充実が必要です。

本市と米国クリアウォーター市は、昭和34年に姉妹都市提携して以来、交換英語教師・  
交換留学生の受け入れ、交換学生・英語教師の派遣などの人的な交流を主体に親善交流を  
深めています。

昭和56年には中国石家庄市と友好都市締結をし、視察団の派遣と受け入れ、研修生の  
受け入れ、中学生派遣事業などを通じて友好親善の絆を深めています。

長年にわたり友好関係を深めてきた姉妹都市クリアウォーター市及び友好都市石家  
庄市とは、教育、文化、経済など様々な分野における交流の充実・取組が必要です。

また、もんぜんぷら座に国際交流コーナーを設置し、国際交流イベントを開催したり、  
学校・サークル・イベントなどに国際交流員を派遣したりして国際交流の輪を広げていま  
す。

「平和と友好の祭典」である冬季オリンピック・パラリンピックを開催した本市から、世  
界に向けて「平和」のメッセージを発信し続けていくとともに、次の世代の子どもたちに  
「平和」の大切さを伝えていくことが重要です。

## 具体的な取組

取組内容	担当課
交換留学生や視察団の受け入れ、派遣などにより、姉妹都市・友好 都市との交流を進めます。	秘書課国際室
ホームステイなどによる留学生などの受け入れや、通訳ボランティ ア等の育成を図り、市民による国際交流を促進します。	秘書課国際室
子どもたちの国際感覚の向上と国際交流の実践のため、国際交流事 業の展開を図ります。	秘書課国際室 学校教育課
市民や外国人の交流や異文化・外国語等を学ぶ場として国際交流コ ーナーを広く周知します。	秘書課国際室
コミュニケーション能力の向上、多文化 <sup>21</sup> についての知識を得るた め、異文化 <sup>22</sup> 理解講座の充実を図ります。	秘書課国際室 家庭・地域学びの課
外国人が理解しやすい言葉の使い方など、外国人の立場に立った対 応ができる学びの場を提供します。	秘書課国際室

<sup>21</sup> 多文化：複数の異なる文化

<sup>22</sup> 異文化：自分が親しんでいる文化（価値観や言語、習慣や生活様式など）とは規範・営みの異なる文  
化

## 2 多文化共生の推進

### 現況と課題

多文化共生への理解を深めるためには、市民自ら日本の文化や歴史、自分の住むまちの文化について理解を深めるとともに、異なる文化を尊重する姿勢を育てることが必要です。

市立公民館では、「外国人のための日本語講座」、郷土史・歴史講座として日本文化や歴史を学ぶ講座も開催しています。今後も一層このような学習機会の充実に努めていく必要があります。行政制度の理解や市民生活に関わる知識を深めるための講座の開設、外国人の子どもたちのための母国語教室の開催など系統的な取組も必要です。

本市では、留学生や研修生を講師に迎え、各国の料理実習をし、食事をとりながら交流する料理教室や、市民を対象とした在住外国籍市民による多文化交流理解講座を開催しています。こうした交流を通して異文化への理解を深めていくことが期待されます。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
市民が郷土史に関心を持ち、日本の文化や歴史について学ぶ機会を拡充します。	家庭・地域学びの課 <b>再掲</b> P20
市立公民館等の生涯学習施設を利用した外国人のための講座などを充実します。	家庭・地域学びの課
学校教育において語学力の向上や国際的視野を深める教育を推進し、ALT（外国語指導助手）派遣の充実を図るなど、国際的視野を身に付けた児童・生徒を育成します。	学校教育課
「異文化理解講座」や交流会などの開催により、異なる文化への理解を深めます。	秘書課国際室 家庭・地域学びの課



## 体系6 環境・防災意識の高揚、消費生活の安全確保

### 1 環境学習の推進

#### 現況と課題

地球温暖化をはじめとする環境問題が深刻化する中、市民の間で節電や環境に対する意識が高まっています。市民一人一人が環境問題について更に理解を深めるとともに、家庭、学校、職場、地域社会などそれぞれの立場で、環境保全活動に身近なところから取り組むことが必要です。

本市では、体験や調査を通じて環境問題を理解してもらう子ども向け各種環境学習会を開催し、多くの親子が参加しています。また、「長野市環境こどもサミット」の開催や、「こどもエコクラブ」<sup>23</sup>の支援、「みどりの少年団」<sup>24</sup>の育成など環境学習機会の充実に努めています。この他にも、広く市民全般を対象として、市内で見ることのできる貴重な動植物を通して自然や環境保全の大切さを学ぶ講座を開講するなど、生涯を通じた環境学習の促進を図っています。

また、循環型社会の実現を目指し、ごみの減量と再資源化意識の高揚を図るため、啓発活動と情報提供を行うとともに、傘や新聞紙を再利用しエコバッグ等を作る講座や、家庭で段ボール箱を使って生ごみを堆肥化する実践講座など、リサイクル体験型の講座を開催しています。さらに、市民の間では不用品等の有効な活用方法として、フリーマーケットなどの利用が人気を呼んでおり、再利用、再生といった環境保全の意識が醸成されてきています。

ごみのない清潔なまちは、市民の願いですが、ごみのポイ捨てやルールに反したごみ出し、不法投棄などが後を絶たず、大きな問題になっています。市民一人一人が環境美化意識を高め、自ら問題に取り組む必要があります。

このため、年に2回クリーン長野運動推進本部と協力し「ゴミゼロ運動」の実施や、5月、10月を大掃除月間と定め、全市で清掃活動に取り組むことにより「捨てられにくい環境づくり」を推進しています。平成23年4月に「長野市ポイ捨て等を防止し、ごみのないきれいなまちをつくる条例」を施行し、ポイ捨て・ごみの散乱防止のためのさまざまな啓発活動を行っていますが、今後もマナー向上のための意識啓発を充実する必要があります。



<sup>23</sup> こどもエコクラブ：幼児（3歳）から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブ

<sup>24</sup> みどりの少年団：自然を愛し、自然に親しみ、自然と触れ合う活動を通して、緑を愛する人間性と心豊かな社会人に育てることを目的として結成された子ども達の活動団体



具体的な取組

取組内容	担当課
環境問題への理解を深め、環境にやさしい生活様式や社会づくりを進めるため、河川・森林などの自然環境に親しむ事業や、環境の保全に関する学習機会を充実し、市民の環境意識の高揚を図ります。	環境政策課 上下水道局総務課 上下水道局営業課 家庭・地域学びの課
市民の環境学習活動を支援するとともに環境や緑について考えることのできる機会を提供します	環境政策課 森林整備課 学校教育課 上下水道局営業課
リサイクルプラザや市立公民館で開催しているリサイクル体験型講座をはじめ、ごみ減量やリサイクルを推進していくための学習機会を充実します。	清掃センター 家庭・地域学びの課
環境美化意識の高揚やマナー向上を図るため、ごみ拾いや清掃活動への参加を奨励し、啓発活動を推進します。	環境政策課

第二次長野市環境基本計画後期計画

関連計画が  
あります。

## 2 防災学習・交通安全学習の推進

### 現況と課題

平成23年に発生した東日本大震災及び長野県北部震災をはじめ、平成26年の長野県神城断層地震、平成28年の熊本地震と大規模な震災が連続して発生し、甚大な被害を受けた地域はもとより、日本社会全体に大きな影響を与えるものとなりました。今後は、より一層防災に関する知識の普及と意識の高揚を図り、市民と行政が一体となった災害予防体制と減災対策を確立していく必要があります。

災害の発生時に的確に対応するためには、市民一人一人の防災意識の高揚と災害に対する日頃の準備が大切です。このため、大規模自然災害など各種の災害に対応する知識・技能を修得するための学習機会の提供が必要です。本市では、3年に1度長野市総合防災訓練を、毎年土砂災害に対する防災訓練や水防訓練を実施し、啓発を行っています。

また、火災の多くは日ごろの注意により防ぐことが可能であり、市民の防火意識高揚を図るとともに、特に高齢者等の避難行動要支援者に対する防火安全指導の充実が必要になっています。このため、地域における防災活動として重要な役割を果たしている自主防災会が行う防災訓練に対して指導等の支援を実施しています。急病や負傷者が発生した時の応急手当についても、普通救命講習会などを通して正しい知識・技術の普及・啓発を図っています。

この他、市内では、毎年多くの人々が交通事故による被害に遭っています。交通事故は安全意識を一人一人が持つことにより、事故の軽減や防止が可能なものといえます。

本市では交通安全教室や交通安全推進フェアを開催し、市民の交通安全意識の向上と知識の普及に努めています。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
防災に関する知識の普及と意識の高揚を図り、市民と行政が一体となった災害予防体制を確立するため、防災に関する市政出前講座 <sup>25</sup> *の活用による防災学習、広報活動や防災訓練等を通じた啓発活動を推進します。	危機管理防災課 消防局警防課
公民館講座の開催により、防災学習を推進します。	家庭・地域学びの課
火災を未然に防止するため、予防運動を積極的に推進するとともに、各種イベントにおいて、広報を行うことにより、防火意識の高揚を図ります。	消防局予防課
応急手当に関する各種講習を実施するとともに、応急手当普及員の養成を推進し、応急手当の重要性とその方法について、正しい知識と技術の普及を図ります。	消防局警防課
幼児から高齢者までの一貫した交通安全教育を、学校、地域、職場等あらゆる場で開催し、交通安全に対する正しい知識の普及と意識の高揚を図ります。	交通政策課
広報活動を充実し、交通マナーの向上を図ります。	交通政策課

<sup>25</sup>市政出前講座：市職員が講師となり、会場へ出向いて、市の事務や事業について説明を行うもの

### 3 消費者の安全確保の推進

#### 現況と課題

消費生活における商品やサービスの販売形態が複雑化、多様化する中で、若年層から高齢者まで幅広い年代で消費者トラブルが発生しています。特に、インターネットを利用した通信販売やアダルトサイト利用料等の架空請求のトラブルが増加傾向にあります。また、高齢者を狙った振り込め詐欺などの特殊詐欺、悪質商法等の問題も後を絶たず、こうした事態が続くことにより、市民の将来の消費生活に対して多大な悪影響を及ぼす恐れがあります。このため、賢い消費者となるための学習機会が求められています。

そのほか、食品や製品への安全性に関する意識の高まりや、将来の暮らしに大切な生活設計、健康法などの学習機会を充実していくことが必要です。

また、市民の身近な憩いの場や余暇の場として、市民農園・市民菜園の充実を図るため、本市では、野菜づくり講習会を開催するなど、農業の楽しみを生かしながら、地産地消に対する興味や意識を高めるとともに、健康づくりや生きがいを図っています。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
消費者被害の未然防止と拡大防止を図るため、出前講座等の学習機会の充実を図るとともに生活知識講座などを充実します。	市民窓口課
市民を対象に野菜づくり講習会などを充実します。	農業政策課
地元の産業や地産地消に対する興味や意識を高めるための学びの場を提供します。	産業政策課 <b>再掲</b> P15

## 体系7 ボランティア活動の推進

### 1 ボランティアの育成

#### 現況と課題

本市では、長野オリンピック・パラリンピックの際に根付いたボランティア精神が現在にも受け継がれ、福祉、教育、文化・芸術、環境など多様な分野で多くの市民が活躍しています。

ボランティア活動に参加し、活動に関わる分野の知識や技術の習得のための学習をすることにより、更に活動が広がるなど、生涯学習とは密接な関係にあります。

長野市社会福祉協議会の長野市ボランティアセンターでは、毎年、中学生以上を対象に夏休み期間中にボランティア活動体験ができる「サマーチャレンジボランティア」を実施しています。また、困りごとに気づき、人やサービスをつなぎ、新たな仕組みづくりを進めるための力を身につけるため「ボランティア・地域づくりコーディネート力講座」などが開催されています。

市立公民館では、そこで活動するグループが公民館講座のボランティア講師になるなど、学びの成果をボランティアリーダーとして生かす取り組みを進めています。今後は更に多くの方がボランティア或いはボランティアリーダーとして活躍できるような人材を養成していく必要があります。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
ボランティアとしての心構えや実際の活動などについて学ぶ機会を提供し、ボランティアとして活躍する人材やボランティアリーダーを育てるための講座・教室などを開催します。	福祉政策課（長野市社会福祉協議会） 人権・男女共同参画課 家庭・地域学びの課 文化財課 長野図書館 南部図書館

## 2 ボランティア情報の収集と提供

### 現況と課題

ボランティア活動をしたいと思ったときに、まず必要になるのは情報です。どこで、どのような活動ができるのか、活動拠点はどこか、といった情報が迅速に入手できるような仕組みづくりが必要です。

市内のボランティア団体やボランティア活動の情報は、長野市ボランティアセンターが主に収集し、取りまとめをしています。全県の情報は長野県社会福祉協議会で収集しています。しかし、現在の情報はボランティアから自主的に寄せられるものが主になっていることから、関係機関との連携を深め、情報収集の仕組みづくりをするとともに、情報の交換や共有を進めることが重要です。

一方、ボランティア情報は主に長野市ボランティアセンターの「ボランティアかわらばん」などの情報誌、また、ホームページなどによって提供されていますが、長野市ボランティアセンターだけでなく、生涯学習センターや市立公民館など他の機関においてもそれらの情報を提供していくことが必要です。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
市民や各機関が所有している情報の交換や共有により、より多くのボランティア情報を収集する仕組みづくりを進めます。	福祉政策課（長野市社会福祉協議会）
学習情報の提供の一環として、市立公民館等でもボランティア情報を提供していきます。	家庭・地域学びの課
ホームページ等の活用により、ボランティア活動情報の提供を充実します。	福祉政策課（長野市社会福祉協議会） 家庭・地域学びの課



### 3 ボランティア活動の活性化

#### 現況と課題

現在、市内には福祉分野のボランティア団体をはじめ、リフレッシュプラザを拠点としたリサイクル活動のボランティア、真田宝物館を拠点とした松代文化財ボランティアなど多くの団体があり、活発に活動しています。それぞれの施設では、積極的な支援をされており、活動の活性化にもつながっています。

また、大規模災害の際には、復興支援を目的に被災地へのボランティア支援や長野市内における被災地への支援を行っています。

ボランティア団体を支援する長野市ボランティアセンターには、専任の「ボランティアコーディネーター」<sup>26</sup>が配置され、ボランティアの相談やコーディネート（調整）業務に当たっています。「ボランティアコーディネーター」の役割は、ますます重要になっていることから、人材を養成し、コーディネート機能を強化することが必要となっています。

少子化や超高齢社会の到来、市民要望の多様化に伴い、ボランティアの役割は年々重要になってきていることから、今後もボランティア活動に対して、様々な面から支援をしていく必要があります。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
ボランティアの活動しやすい環境を整備するため、ボランティア活動を支援し、ボランティアコーディネーターを育成します。	福祉政策課（長野市社会福祉協議会）
ボランティアコーディネート機能の強化を支援します。	福祉政策課（長野市社会福祉協議会）
地域社会の発展のため、地域活動やボランティア活動への積極的な参加を推進します。	家庭・地域学びの課 <b>再掲</b> P11

<sup>26</sup> ボランティアコーディネーター：ボランティアを希望する人と必要とする人の双方の要望を総合的に調整し、介する役割を担う

## 体系8 学習成果を生かした地域づくりへの参加促進

### 1 グループ・サークル、社会教育関係団体の育成

#### 現況と課題

本市には市立公民館を拠点に活動している団体が2,835あり（平成27年度末現在）、本市ではこの情報を「長野市のグループ・サークル」という冊子にまとめて情報の提供に努めています。また、勤労青少年ホームなど他の生涯学習施設でも多数のグループ・サークルが活動しています。今後も自主的なグループ・サークルが育ちやすい環境を整備し、活発な活動が展開されるよう支援していくことが大切です。

市立公民館では、成人学校等の学級・講座修了者に対して、より学習を深めるために、グループ・サークルの結成を勧めています。また、公民館報でグループ・サークルの紹介をしたり、公民館を使用しているグループ・サークルの打ち合わせ会を実施するなど、様々な方法で活動を支援しています。今後も引き続きこれらを充実する必要があります。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
他のグループ・サークルとの交流の場を設けたり、公民館をはじめ、生涯学習施設で活動している団体の発表の機会の拡充を図るとともに、広く市民に情報を提供し、グループ・サークル、社会教育関係団体の活性化を図ります。	家庭・地域学びの課
団体の組織化や運営方法等について、相談に応じ助言するとともに、活動の場の提供に努めます。	人権・男女共同参画課 産業政策課 家庭・地域学びの課

### 2 学習成果の発表の場の充実

#### 現況と課題

市立公民館では、作品展、文化祭などの発表の機会を設け、学習成果を市民に公開し、学習者のやる気の醸成と新たな学習者の発掘に努めています。

一方、市内では高校、大学をはじめ、小中学校のクラブ活動の発表会が多数開催されているほか、各種グループ・サークルが共同して作品展示発表などを行っています。また、展示会・発表会・演奏会等も盛んに開催されており、長野市や長野市教育委員会もこれらの多くを後援しています。

また、市立公民館のホールや長野市芸術館、松代文化ホール、若里市民文化ホール、東部文化ホールなどの施設の有効活用を図り、発表の場を充実させる必要があります。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
児童・生徒の作品展や大会など、また成人学校等における作品展、文化祭など、発表の機会を充実します。	学校教育課 家庭・地域学びの課
各種グループ・サークルと地域の小中学校、生涯学習施設などが連携し、発表者の場の充実を図ります。	家庭・地域学びの課

### 3 学習指導者の養成

#### 現況と課題

本市には、講座やサークルの指導者として既に活躍している市民のほか、専門的な知識・技能を持っている方がたくさんいます。生涯学習の指導者は、指導が生きがいでもあり、学習指導により更に学習が深まります。また、ある分野の指導者が異なる分野では他の指導者に教わるというように相互に教え、学び合っています。

生涯学習の推進には、様々な学習活動を指導し、助言する人の役割が重要であり、各分野の指導者の発掘や養成の機会を拡充していく必要があります。

本市では平成6年度に「長野市生涯学習リーダーバンク」を設置し、平成28年5月現在173人が生涯学習指導者として登録されています。今後は、登録者の活用を推進するとともに、発掘、養成した指導者を、生涯学習リーダーとして市民に情報提供し、活用を図っていく必要があります。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
指導者の発掘と養成を行い、「長野市生涯学習リーダーバンク」を充実します。	家庭・地域学びの課
「長野市生涯学習リーダーバンク」の活用により、指導者の情報を積極的に提供するとともに、指導者の活躍の場の確保に努めます。また、掲載内容の充実に努めます。	家庭・地域学びの課
講座・教室等を修了した人が学習の成果を地域に還元できる機会を提供します。	家庭・地域学びの課
市立公民館では、地域の人材を活用し、子育て経験者が子育て中の保護者に対してアドバイスや支援を行うなど、地域ぐるみの取組みを支援します。	家庭・地域学びの課 再掲 P8

主な取組の目標値

施策2

市民の学びを生かす地域づくり ～生涯学習の成果を生かす～

◇ 施策の目標 生涯学習を通じた人のつながりや学習の成果を社会や地域の中に生かすことにより、市民と行政で協力しあう地域づくりを進めます。

指標項目	現状値 (H27)	目標値 (H33)
市有ホール施設の利用者数	277,372人	535,000人
成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	59.1%	65.0%
住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合について、全国を100とした指数	小学校 129.4 中学校 118.8	小学校 131.7 中学校 120.6
人権教育・啓発研修会参加者の満足度	88.8%	92.0%
国際交流コーナーの利用者数	8,909人	9,200人
環境学習会参加者数	5,104人	5,200人
自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	87.1%	100%
読みがたり・朗読ボランティア養成講座参加者数	32人	50人
市立公民館の講座における地域住民が講師を務めた講座の割合	37.2%	38.5%

## 施策3 市民の学びを支える体制づくり ～学習しやすい仕組みをつくる～

- ◇ 施策の目標：生涯学習施設をはじめ生涯学習を結ぶ体制作りや連携を進めながら市民が学習しやすい仕組みを作ります。

### 体系1 生涯学習推進体制の整備

#### 1 生涯学習推進体制の整備

##### 現況と課題

学習活動は、乳幼児期から高齢期まで及び、様々な分野にわたっています。そこで、施策の推進に当たっては、総合的・体系的に取り組む必要があります。

本市の生涯学習に関する事業は、生涯学習センター、市立公民館、市立図書館、博物館などの教育委員会の施設のほか、市の多くの部局において実施されています。

県都である本市には、県立長野図書館、長野県信濃美術館・東山魁夷館、ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）など県立の施設があり、これらの県立施設と市立施設で連携を深められるという特色があります。

また、市内には大学・短期大学など多くの教育機関があり、本来の教育活動のほか、市民を対象とした講座等を開催しています。信州大学では「市民開放授業」や「出前講座」・「公開講座」、長野工業高等専門学校では「出前授業」、長野県短期大学では「市民カレッジ」、清泉女学院大学・短期大学では、「オープンカレッジ 生涯学習講座」や「公開講座」、長野女子短期大学では「公開講座」、専修学校・各種学校では「いきいき生涯学習」、市立長野高等学校では「パソコン講習会」などが実施され、多くの市民が学んでいます。

さらに、市内には民間の美術館など多くの生涯学習施設があり、カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の生涯学習事業が実施されています。

一方で、生涯学習を生涯学習センターや公民館で行っている、または、行いたいと思う市民の割合は、年代が高くなるほど高い傾向にあることから、これまで利用することの少なかった世代が利用しやすいよう、講座や施設の周知、内容の充実、施設運営などを検討する必要があります。

##### 具体的な取組

取組内容	担当課
生涯学習の全市的推進のため、生涯学習施設、活動団体、民間事業者等との連携を図ります。	家庭・地域学びの課
教育機関、民間事業者等との共催事業の実施など、連携を深めます。	家庭・地域学びの課
生涯学習を総合的・体系的に推進するため、生涯学習センターでは、学習情報や最新の学習課題を学ぶ全市的な講座を提供します。	家庭・地域学びの課



## 体系2 生涯学習支援の充実

### 1 学習情報の収集と提供

#### 現況と課題

生涯学習を進める上で重要となるのが学習情報です。市内の学習情報は、各部局、教育機関や民間事業者から様々な手段により収集できますが、長野市全体の学習情報を一元化するまでには至っていません。

講座などの学習情報は、市の広報、地区内回覧、市のホームページ、生涯学習だより、公民館報、長野市生涯学習リーダーバンク登録者名簿、長野市のグループ・サークルなどにより提供をしています。

今後は、長野市全体の学習情報を一元化し、定期的に総合的な学習情報として提供していく必要があります。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
「生涯学習だより」などの学習情報紙の発行などにより情報を提供します。	家庭・地域学びの課
学習情報を広く提供するため、情報の整理を行いホームページでの一元管理を進めます。	家庭・地域学びの課
公民館報やちらし・印刷物等による情報提供は、その特性を生かして充実を図ります。	家庭・地域学びの課
ホームページやSNS <sup>27</sup> を活用し、市立公民館の情報を積極的に発信します。	家庭・地域学びの課

<sup>27</sup> SNS: : Social Networking Service の略。(インターネット上で友人を紹介し合い、個人間の交流を支援するサービスのこと。)

## 2 学習機会の提供

### 現況と課題

学習者の求める学習内容は趣味的なものから専門的なものまで幅広く、また求めるレベルは初歩的なものから高度な最先端技術まで広がっています。

本市では、市立公民館で行われている成人学校や各種講座はもちろんのこと、生涯学習センターでは、長野県短期大学との共催で「市民カレッジ」を開催しています。また「地域人材育成セミナー」も開催し、生涯学習や地域活性化など学んだ知識を地域に還元できる人材の育成を目指しています。

このように、気軽に参加できる学習や学びのきっかけづくりは身近にある市立公民館などで実施し、学習が深まるにつれて大学、高校等の教育機関や他関係機関等と十分な連携をとって行う必要があります。

現在、市民に市政に関する理解を深めてもらうため市政出前講座を実施し、市政情報を提供しています。

放送大学は、誰でも入学でき、テレビ・ラジオなどを通じて授業を受けることができる教養学部の大学です。現在、市内では生涯学習センターに放送大学長野ブランチ（センター外視聴施設）が設置されており、教材テープの貸し出しや視聴、単位認定試験などが行われています。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
他の生涯学習機関及び教育機関等と連携し、学習者の幅広い要望に対応した学習機会を提供するとともに、高齢者・障害者・外国人などに配慮した学習機会の提供に努めます。	家庭・地域学びの課
市職員が出向いて市政に関する説明などを行う、市政出前講座の充実による学習機会の提供に努めます。	広報広聴課
学習相談の対応として、成人学校・講座・講師・学習場所及びサークルの紹介や図書館のレファレンス・サービス <sup>28</sup> など、情報の提供を行います。	家庭・地域学びの課 長野図書館 南部図書館 博物館 人権・男女共同参画課

<sup>28</sup> レファレンス・サービス：何らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して図書館員が仲介的立場から、求められている情報あるいは資料を提供ないし提示することによって援助すること及びそれに関わる諸業務

## 体系3 生涯学習施設の充実

## 1 生涯学習センターの充実

## 現況と課題

本市では、平成18年10月に生涯学習推進の拠点となる生涯学習センターを設置し、生涯学習を総合的・体系的に推進しています。

自主企画講座として、身近な疑問の解消・生活上のちょっとした工夫・常識などを学ぶ「教えて常識塾」、長野県短期大学との共催講座「市民カレッジ」、郷土についてや社会情勢に応じたテーマで、生涯学習意欲を高め知識を深めるための「トイゴセミナー」、生涯学習や地域活性化など、学んだ知識を地域に還元できる「地域人材育成セミナー」、個性豊かな地域の経済活性化を目指す「トイゴ経済セミナー」、市民の生涯学習意欲の高揚・学びきっかけづくりの「文化講演会」を開催しています。

また、市民グループ・サークル・企業の勉強会、研修会、各種セミナー、講演会、作品展覧会などへ学習室の貸出を行ったり、放送大学長野ブランチ（センター外視聴施設）としても利用されています。

平成27年度の生涯学習センターの利用者数は、207,513人となっています。

今後は、利用者のニーズを把握しながら、生涯学習を推進するとともに、中心市街地活性化を担う施設として、利用者の増加に向けた施策を展開する必要があります。

## 具体的な取組

取組内容	担当課
生涯学習センターで実施する自主企画講座の充実を図ります。	家庭・地域学びの課
学習情報紙の発行などにより情報を提供します。	家庭・地域学びの課
放送大学長野ブランチ（センター外視聴施設）について、市民への情報提供を行うとともに、高度な内容の学習機会を提供するよう努めます。	家庭・地域学びの課
充実した施設や中心市街地の立地を生かし、学習室の貸し出しなど利用者ニーズに応じた学びの場を提供します。	家庭・地域学びの課



## 2 市立公民館の充実

### 現況と課題

本市の市立公民館<sup>29</sup>は、市町村合併により本館 29 館、分館 30 館で運営をしており、成人学校のほか、各種学級・講座を開催しています。平成 27 年度においては、18 公民館で成人学校を開催し、延べ 6,084 人が受講をしました。また、地域課題に沿った学級・講座を延べ 1,027 回開催し、111,208 人が参加をしました。

このほか、市立公民館にはグループ・サークルの団体が 2,835 団体 153,671 名の登録があり（平成 27 年度末）、絵画・書道・合唱等の文化芸術、体操・ダンス・球技等のスポーツ、料理・手芸・園芸等の家庭生活など、幅広い活動に利用されています。

平成 27 年度における、講座等の受講者及び各種団体の年間利用者の延べ人数は、1,013,938 人であり、市立公民館は、地域における社会教育・生涯学習の重要な拠点施設となっています。

また、市立公民館の改築については、人が集まりやすい、誰もが使いやすい施設を目指し、公共施設マネジメント指針に基づき、地域住民の意見を踏まえながら整備を進めています。

地域のつながりの希薄化が指摘される中、今後は、コミュニティセンター等、住民の生涯学習や地域活動の拠点施設として、より柔軟で魅力的な運営方法について検討していく必要があります。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
高齢者・障害者にも配慮した誰にとっても使いやすい市立公民館を整備します。	家庭・地域学びの課
公共施設マネジメント指針に基づいた施設の整備を図り、分館等の統廃合などについて検討します。	家庭・地域学びの課
他の生涯学習機関及び教育機関等と連携し、学習者の幅広い要望に対応した学習機会を提供するとともに、高齢者・障害者・外国人などに配慮した学習機会の提供を行います	家庭・地域学びの課
地域に密着した公民館活動を目指し、指定管理者制度の導入を促進します。	家庭・地域学びの課
公民館が住民の生涯学習、地域活動の拠点施設として、より柔軟で魅力的な施設となるよう、運営方法を検討します。	家庭・地域学びの課
ホームページやSNSを活用し、市立公民館の情報を積極的に発信します。	家庭・地域学びの課 再掲 P36

<sup>29</sup> 市立公民館：社会教育法に基づき、住民の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養・文化の向上、社会福祉の増進等を図るため、市が管理・運営する施設

### 3 図書館の充実

#### 現況と課題

本市には、市立図書館本館が2館あります（長野図書館及び南部図書館）。そのほか、市立公民館28か所（篠ノ井公民館を除く）に図書館分室を設置し、移動図書館<sup>30</sup>「いっぴな号」が91か所できめ細やかなサービスを提供しています。この他、市内には、公立図書館として県立図書館があります。

蔵書は平成27年度末で995,137冊、平成27年度の年間貸出利用者数は316,247人、貸出冊数は、1,507,505冊となっています。また、長野図書館にある障害者ライブラリーでは、点字図書・録音図書（デージー<sup>31</sup>・カセットテープ）を貸出したり、対面朗読を行っています。

図書館は、様々な人のニーズに応えるために必要な情報を提供する重要な施設です。市民の高度で多様な学習を計画的に支援するため、平成27年度に長野市立図書館基本計画を策定しました。

今後は、長野市立図書館基本計画に基づき、利用者の利便性の向上、図書館利用の促進を図っていくことが必要です。

本項目における方策の展開と具体的な取組については、「長野市立図書館基本計画」で述べています。



長野市立図書館基本計画

関連計画があります。

<sup>30</sup> 移動図書館：専用の車に図書を積んで市内各地を巡回して貸出しを行う自動車図書館。図書館から遠くで利用しにくい市民にも図書を提供できる

<sup>31</sup> デージー：視聴覚障害者や一般の印刷物を読むことが困難な人々のためにカセットに代わるデジタル録音図書



## 4 博物館その他生涯学習施設の充実

### 現況と課題

生涯学習センター、市立公民館、市立図書館のほか、博物館、青少年教育施設、スポーツ施設も重要な生涯学習の場です。

長野市立博物館は、八幡原史跡公園内にある本館・プラネタリウムのほか、分館として戸隠地質化石博物館、鬼無里ふるさと資料館、信州新町美術館・有島生馬記念館・信州新町化石博物館・ミュゼ蔵、附属施設として門前商家ちよっ蔵おいらい館、大岡歴史民俗資料館、中条歴史民俗資料館があります。平成27年度の市立博物館入館者数合計は86,088人となっています。

その他大室古墳館や埋蔵文化財センター、真田宝物館・真田邸・文武学校・旧横田家住宅・象山記念館などの松代藩文化施設があります。平成27年度の松代藩文化施設入場者数合計は756,827人となっています。

青少年教育施設は、昭和60年7月に開館した少年科学センター、昭和57年4月に開館した青少年錬成センター本館、平成13年5月に開館した青少年錬成センター分館があります。平成27年度の少年科学センターの入館者数は、107,318人、青少年錬成センターの利用者数（本館・分館）は、15,140人であり、ソフト事業を充実させるなどしながら、利用の促進を図っています。

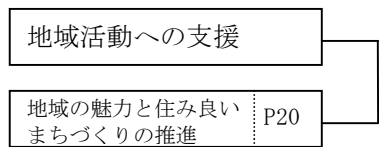
今後も引き続き、博物館やその他生涯学習施設の整備充実を図る必要があります。

### 具体的な取組

取組内容	担当課
高齢者・障害者にも配慮した誰にとっても使いやすい生涯学習施設を整備します。	家庭・地域学びの課 文化財課 博物館 スポーツ課
博物館再編基本計画を策定し、施設の集約化を進めるとともに、博物館本館の常設展示のリニューアルと施設の長寿命化を図ります。	博物館
松代藩文化施設の適切な保存整備を行うとともに、歴史・文化遺産を生かした魅力的な地域づくりを目指します。	文化財課
青少年の健全育成を推進するため、少年科学センターや青少年錬成センターなどの施設の利用促進を図ります。	家庭・地域学びの課

**体系4 地域活動への支援**

**1 地域活動への支援**



**現況と課題**

地域における課題が複雑・多様化している中、本市では、住民自治協議会を中心に市民によるまちづくりが実践されています。

また、地域住民が設置、運営している地域公民館は、地域のコミュニティの拠点施設として、地域の自主的な活動に取り組んでおり、地域の人づくり・まちづくり、地域課題の発見・解決につなげています。

本市では、地域の拠点となる地域公民館の新築・改築・修繕等に対し、補助金制度を設け、地域住民の負担を軽減するなど、地域公民館の自主的かつ自発的な地域づくり活動を支援しています。

今後も地域公民館の地域活動を活性化するため、行政が支援していく必要があります。

**具体的な取組**

取組内容	担当課
市民の自主的かつ自発的な地域づくりの活動を支援します。	地域活動支援課 <b>再掲</b> P20
地域公民館の施設整備や活動を支援します。	家庭・地域学びの課
地域社会の発展のため、地域活動やボランティア活動への積極的な参加を推進します。	家庭・地域学びの課 <b>再掲</b> P11

体系5 家庭・地域・学校の連携・協働による教育力の向上

1 家庭の教育力の向上

家庭の教育力の向上

乳幼児期に応じた学び P7

現況と課題

家族形態の多様化や家庭と地域社会とのつながりの希薄化など家庭を取り巻く環境の変化に伴い、家庭の子育て環境も変化し、基本的な生活習慣の欠如、過保護や過干渉、放任・無関心や児童虐待など、家庭の教育力の低下が指摘されています。

また、子育て不安を抱えたり孤立化する保護者、社会性、自立心、自尊心の形成に課題のある子どもなど、様々な問題を抱える家庭が増えており、親子が共に学び成長する力の向上が求められています。

具体的な取組

取組内容	担当課
青少年の健全な成長を図るため、学校PTAや市立公民館において、基本的な生活態度の形成やしつけなどについて保護者が学ぶ家庭教育講座などの学習機会を拡充します。	家庭・地域学びの課 再掲 P10
市立公民館等の公共施設において、親子で学べる場の充実を図ります。	家庭・地域学びの課
地域主催による家庭教育力の向上に向けた取組を支援します。	家庭・地域学びの課
「マタニティセミナー」、「健康教室」、「家庭の学び講座」、「親子よい歯サポート教室」などの出産・子育てに関する学習機会の提供や各種相談を推進します。	保健所健康課 家庭・地域学びの課 再掲 P8
「第二次長野市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会の充実や読書活動を行うための環境の整備・充実に努めます。	家庭・地域学びの課 再掲 P8
おひざで絵本事業の一層の推進を図り、乳幼児期から絵本と触れ合うことの大切さや楽しさを伝えます。	家庭・地域学びの課 再掲 P8

【施策3 市民の学びを支える体制づくり】

体系5 家庭・地域・学校の連携・協働による教育力の向上

2 地域の教育力の向上

現況と課題

少子化や核家族化、都市化、情報化等の社会の変化や、人間関係や地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭の教育力とともに地域社会における教育力も低下していることが指摘されています。地域社会の中で、子どもたちを見守る、育てるということが少なくなり、この状況が子育て家庭の地域での孤立につながるなど、様々な問題の要因ともなっていると言えます。

高度情報化が進む社会の中で、多くの情報から地域の課題を認識し、地域の実情に合わせて、住民が主体的に考え、人と人が顔を合わせ、協働して解決していくことが求められており、地域ぐるみで子どもたちの学びや育ちを支える取組を推進する必要があります。

具体的な取組

取組内容	担当課
地域の子どもと大人が一緒になって活動する体験事業を支援します。	家庭・地域学びの課 再掲 P10
異年齢集団での活動を通じ、自主性、社会性を育てるために、子ども会活動への参加を奨励し、問題に直面したときに自ら解決する力を培い、社会的役割や責任の自覚を促す子ども会活動や子ども会リーダーの養成に努めます。	家庭・地域学びの課 再掲 P10
地域の教育力向上を目指し、公民館等の公共施設において、地域で学べる場の充実を図ります。	家庭・地域学びの課
市立公民館では、地域の人材を活用し、子育て経験者が子育て中の保護者に対してアドバイスや支援を行うなど、地域ぐるみの取組みを支援します。	家庭・地域学びの課 再掲 P8



### 3 家庭・地域・学校・事業所の連携・協働の充実

#### 現況と課題

家庭の教育力の低下、地域の教育力の低下が指摘される中、家庭と地域、地域と学校とが、互いにつながりを深め、支え合うことが求められています。

本市では、地域と学校との連携事業は、住民自治協議会ごとに行われ、学校の特色ある活動や子どもたちの様子などについて住民自治協議会役員と学校職員が懇談する機会を設けている地区や、学校と連携して子どもの作文や標語、ステージ発表などを行う青少年健全育成関係住民大会を開催している地区があります。また、地域住民がボランティアとして学校の教育活動に参画して学校地域支援活動を実施したり、地域のこども会育成会活動などに学校職員が参加している地域もあります。

一方、学校と地域が互いに理解しあう段階にとどまり、目指す子ども像を共有し、互いに協力して地域の子どもの育てていこうという意識が薄いなどの課題もあります。

また、保護者が地域や学校の活動に参加するには、保護者の勤務先である事業所の理解も必要です。

今後は、それぞれの地区で、役員が工夫をしながら地域と学校が連携し、子どもたちの健全育成を一緒に進めるとともに、行政は、積極的に支援する必要があります。

#### 具体的な取組

取組内容	担当課
家庭・地域・学校の連携と協働の形として、コミュニティスクールの推進を図ります。	学校教育課
家庭・地域・学校がそれぞれの役割を持ちながら連携し、青少年の学習活動及び情報モラル教育を推進していく体制を整備します。	学校教育課 家庭・地域学びの課
仕事を持つ保護者が、学習活動への参加ができるように、開催日、開催時間に配慮します。	家庭・地域学びの課 <b>再掲</b> P8
学校教育のなかで地域の人材を登用するため、長野市生涯学習リーダーバンクなどの活用を促します。	家庭・地域学びの課
各住民自治協議会に、指導主事を派遣して、望ましい家庭・地域・学校の連携について懇談したり、役員の研修会で講話をしたり、地区の課題について相談にのるなどの体制を整えます。	家庭・地域学びの課
青少年健全育成に関して各住民自治協議会の実践や課題等について語り合い、抱えている課題等の克服に努めるため、青少年健全育成情報交換会の内容の充実を図ります。	家庭・地域学びの課
学校施設の体育館や運動場の開放について、市民への周知を図るとともに、市民が利用しやすい環境をつくります。	スポーツ課
事業所が取り組む家庭の学びを支援します。	家庭・地域学びの課



主な取組の目標値

施策3

市民の学びを支える体制づくり ～学習しやすい仕組みをつくる～

◇ 施策の目標 生涯学習施設をはじめ生涯学習を結ぶ体制作りや連携を進めながら市民が学習しやすい仕組みを作ります。

指標項目	現状値 (H27)	目標値 (H33)
若い世代を中心に構成される団体が市立公民館を利用した割合	9.9%	11.0%
公民館活動に関する SNS（ツイッター）による情報発信数	— (新規事業)	180
生涯学習センターの利用者数	207,513 人	210,000 人
一日あたりの入館者数（長野図書館）	1,164 人	1,250 人
少年科学センター入館者数	107,318 人	110,000
「親子学級」を実施する公民館数	— (新規事業)	29 館 (全館)
「地域の学び講座」を実施する公民館数	— (新規事業)	29 館 (全館)

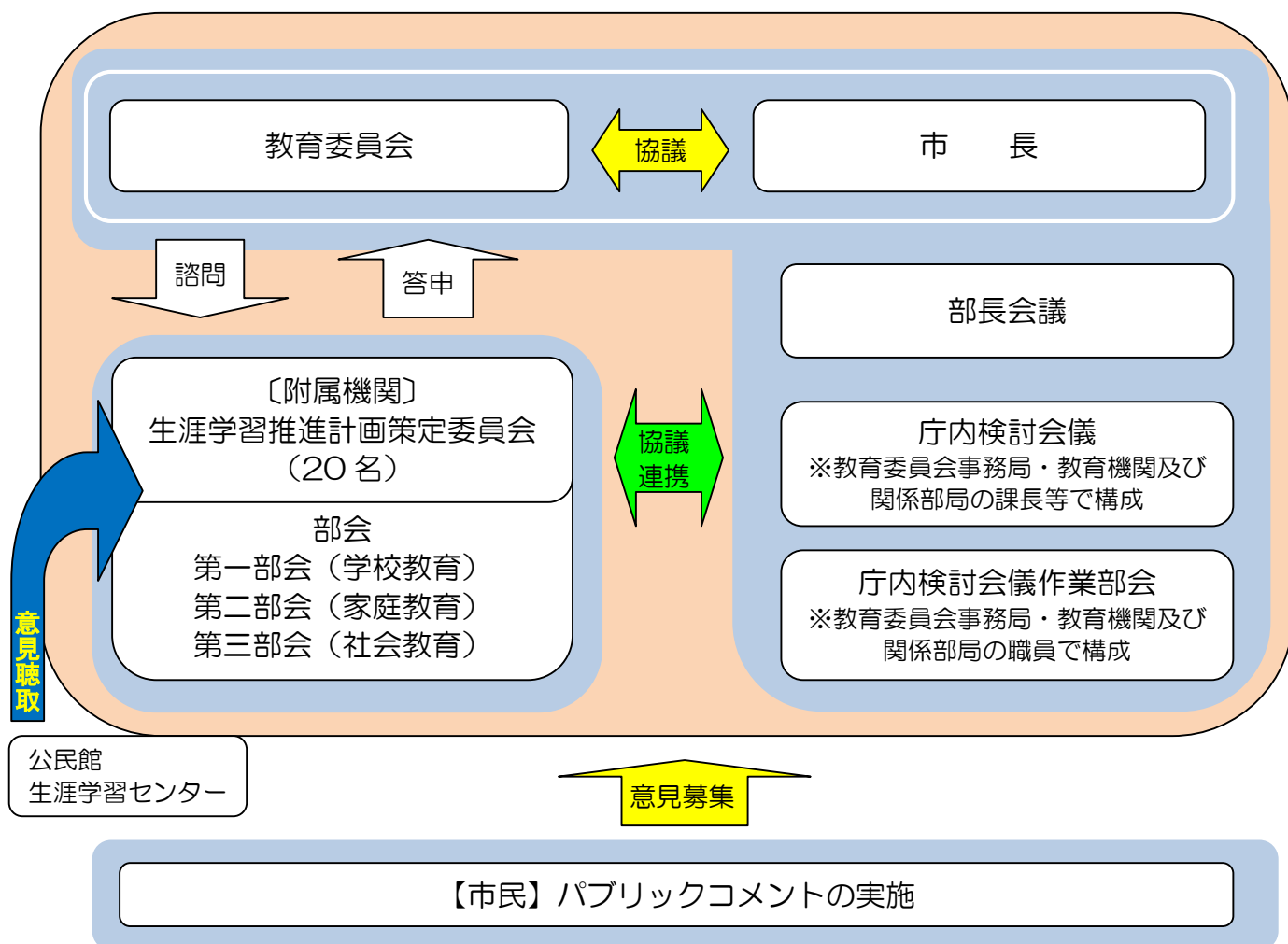
# 資料

- 第二次長野市生涯学習推進計画の策定経過
- 第二次長野市生涯学習推進計画の策定体制
- 長野市生涯学習推進計画策定委員会要綱
- 長野市生涯学習推進計画策定庁内検討会議要綱
- 長野市生涯学習推進計画策定委員会委員名簿
- 長野市生涯学習推進計画策定委員会への諮問・答申
- 長野市生涯学習推進計画策定委員会の検討経過
- 第二次長野市生涯学習推進計画策定に係る市民意見募集
- 平成27年度まちづくりアンケート報告書（抜粋）
- 第二次長野市生涯学習推進計画目標値及び設定根拠等

## 第二次長野市生涯学習推進計画の策定経過

年月日	会議等	内容
平成27年9月1日	部長会議	・生涯学習推進計画策定の基本的考え方、策定体制等について協議、決定
9月2日	定例教育委員会	・生涯学習推進計画策定の基本的考え方、策定体制等について協議、決定
平成27年10月	策定委員推薦依頼及び公募	・計画策定に有識者及び市民意見を反映させるため、策定委員会委員の選定
平成28年1月28日	第1回策定委員会	・諮問 ・策定方針について
2月3日	定例教育委員会	・第1回策定委員会の報告
2月19日	第2回策定委員会	・第一次計画の主な取組状況について ・専門部会について
2月24日	定例教育委員会	・第2回策定委員会の報告
4月26日	庁内検討会議幹事会	・第一次計画の主な取組状況について ・計画構成（案）について ・生涯学習事業の基本的方向について
5月2日	庁内検討会議	・第一次計画の主な取組状況について ・計画構成（案）について ・生涯学習事業の基本的方向について
5月10日	定例教育委員会	・庁内検討会議の報告
5月18日	第3回策定委員会	・計画構成（案）について ・生涯学習事業の基本的方向について
7月19日	第4回策定委員会	・計画施策体系素案について
7月21日	【専門部会】	・計画素案について
8月22日	第5回策定委員会	・計画施策体系素案について
8月23日	【専門部会】	・計画素案について
8月26日		
8月30日	教育委員会勉強会	・計画施策体系素案、計画素案について協議
9月26日	第6回策定委員会	・計画素案について
9月27日	【専門部会】	
9月29日		
10月31日	第7回策定委員会	・計画素案の決定について ・中間答申
11月4日	定例教育委員会	・計画案の決定及び市民意見の募集の実施について決定
11月16日	部長会議	・計画案の決定及び市民意見の募集の実施について決定
12月	市民意見等の募集 【パブリックコメント】	
平成29年1月4日	定例教育委員会	・パブリックコメントの実施状況について
1月26日	第8回策定委員会	・パブリックコメントの結果について ・計画案の決定について ・答申
2月1日	定例教育委員会	・計画の決定について
2月13日	部長会議	・計画の決定について

## 第二次長野市生涯学習推進計画の策定体制



## 長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例

○長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例

平成27年3月27日長野市条例第3号

改正

平成27年7月1日条例第39号

長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例

(趣旨)

**第1条** この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づく執行機関の附属機関（以下「附属機関」という。）の設置等に関し、法律若しくはこれに基づく政令又は他の条例に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(設置等)

**第2条** 市長及び教育委員会（以下「市長等」という。）に附属機関を設置し、その名称、担任する事務並びに委員の定数及び任期は、別表のとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、附属機関の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 附属機関は、必要に応じて市長等に意見を述べることができる。

(委員の委嘱等)

**第3条** 附属機関の委員は、学識経験のある者その他それぞれの附属機関が担任する事務に応じて市長等が必要と認める者のうちから市長等が委嘱し、又は任命する。

(特別委員及び専門委員)

**第4条** 附属機関に、特別の事項を調査及び審議させるため必要があると認めるときは特別委員を、専門の事項を調査させるため必要があると認めるときは専門委員を置くことができる。

2 特別委員及び専門委員は、学識経験のある者等のうちから市長等が委嘱し、又は任命する。

3 特別委員は特別の事項に関する調査又は審議が終了したときに、専門委員は専門の事項に関する調査が終了したときに、それぞれ解嘱され、又は解任されるものとする。

(会長等)

**第5条** 附属機関に会長又は委員長等（以下「会長等」という。）を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長等は、会務を総理し、附属機関を代表する。

3 会長等に事故があるとき又は会長等が欠けたときは、あらかじめ会長等の指名した委員が、その職務を代理する。

**附則省略**

別表（第2条関係）

- 1 市長の附属機関 **表省略**
- 2 教育委員会の附属機関 **表省略**
- 3 市長等の附属機関 **抜粋**

名称	担任する事務	委員の定数	委員の任期
長野市生涯学習推進 計画策定委員会	市長等の諮問に応じ、長野市生涯学習推進 計画の策定に関する事項について調査及 び審議すること。	20人以内	2年



## 長野市生涯学習推進計画庁内検討会議要綱

### 長野市生涯学習推進計画庁内検討会議要綱

#### (設置)

第1 本市における生涯学習振興のための施策に関する推進計画（以下「生涯学習推進計画」という。）の策定に当たり、生涯学習推進計画の基本方針等について必要な事項を検討するため、長野市生涯学習推進計画庁内検討会議（以下「検討会議」という。）を置く。

#### (任務)

第2 検討会議は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 生涯学習推進計画の基本方針、基本体系等に関すること。
- (2) 本市の生涯学習推進のための施策の現況に関すること。
- (3) その他生涯学習推進計画の策定に関し教育委員会が必要と認める事項

#### (組織)

第3 検討会議は、委員長及び委員で組織する。

2 委員長は教育委員会事務局家庭・地域学びの課長を、委員は別表第1に掲げる課等の長をもって充てる。

#### (委員長の職務等)

第4 委員長は、会務を総理し、検討会議を代表する。

2 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した委員がその職務を代理する。

#### (会議)

第5 検討会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を検討会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

#### (幹事会)

第6 検討会議の円滑かつ効率的な運営を図るため、検討会議に幹事会を置く。

2 幹事は、委員長のほか、別表第2に掲げる課等の長をもって充てる。

3 第5第2項の規定は、幹事会の会議について準用する。

#### (作業部会)

第7 検討会議の検討事項に関する調査、研究、調整等を行うため、検討会議に作業部会を置く。

2 作業部会の部会員は、別表第1に掲げる課等の職員のうちから委員長が指名する。

#### (庶務)

第8 検討会議の庶務は、教育委員会事務局家庭・地域学びの課が行う。

#### (補則)

第9 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成23年2月4日から施行する。

#### 附 則

この要綱は、平成28年1月5日から施行する。

#### 附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1（第3、第7関係）

総務部	危機管理防災課	
企画政策部	秘書課国際室 企画課 人口増推進課 交通政策課	
市民生活部	地域活動支援課 人権・男女共同参画課	
保健福祉部	福祉政策課 高齢者福祉課 障害福祉課	
保健所	健康課 食品生活衛生課	
こども未来部	こども政策課 子育て支援課 保育・幼稚園課	
環境部	環境政策課	
商工観光部	産業政策課	
文化スポーツ振興部	文化芸術課 スポーツ課	
農林部	農業政策課	
教育委員会	事務局	総務課 学校教育課 文化財課
	教育機関	長野図書館 南部図書館 博物館

別表第2（第6関係）

企画政策部	企画課
こども未来部	こども政策課 子育て支援課 保育・幼稚園課
文化スポーツ振興部	文化芸術課 スポーツ課
教育委員会事務局	総務課 学校教育課 文化財課

## 長野市生涯学習推進計画策定委員会委員名簿

役職	氏名	所属
委員長	越智 康詞	信州大学学術研究院教育学系
副委員長	山口 あずさ	長野市PTA連合会
委員 (五十音順)	相原 文哉	長野市身体障害者福祉協会
	荒井 英治郎	信州大学学術研究院総合人間科学系
	池田 純一	長野市校長会
	井上 友子	公募委員
	今井 克明	長野商工会議所
	浦野 和子	長野市私立保育協会
	春日 俊一	長野市幼稚園・認定こども園連盟
	上條 徳善	長野市社会福祉協議会
	竹内 園美	公募委員
	玉城 司	長野市地方文化財保護審議会
	西 一夫	長野市立図書館協議会
	美谷島 恵子	長野市社会教育委員
	藤田 勉	長野県短期大学 幼児教育学科
	丸山 忠良	長野市立公民館連絡協議会
	百瀬 民明	長野市専修学校各種学校協会
	柳原 静子	長野市地域女性ネットワーク
山口 囀恵	公募委員	
渡邊 和代	公募委員	

## 長野市生涯学習推進計画策定委員会委員名簿

## 【学校教育】

	氏名	所属
会長	荒井 英治郎	信州大学学術研究院総合人間科学系
副会長	池田 純一	長野市校長会
	相原 文哉	長野市身体障害者福祉協会
	春日 俊一	長野市幼稚園・認定こども園連盟
	百瀬 民明	長野市専修学校各種学校協会
	渡邊 和代	公募委員

## 【家庭教育】

	氏名	所属
会長	藤田 勉	長野県短期大学 幼児教育学科
副会長	美谷島 恵子	長野市社会教育委員
	浦野 和子	長野市私立保育協会
	上條 徳善	長野市社会福祉協議会
	柳原 静子	長野市地域女性ネットワーク
	山口 あずさ	長野市PTA連合会
	山口 囀恵	公募委員

## 【社会教育】

	氏名	所属
会長	西 一夫	長野市立図書館協議会
副会長	丸山 忠良	長野市立公民館連絡協議会
	井上 友子	公募委員
	今井 克明	長野商工会議所
	越智 康詞	信州大学学術研究院教育学系
	竹内 園美	公募委員
	玉城 司	長野市地方文化財保護審議会

## 長野市生涯学習推進計画策定委員会への諮問

27 生 第 924 号  
平成 27 年 1 月 28 日長野市生涯学習推進計画策定委員会  
委員長 越智 康詞 様

長野市長 加藤 久雄

長野市教育委員会

## 第二次長野市生涯学習推進計画の策定について（諮問）

本市の生涯学習を推進するための施策に関する基本的な計画として、「誰もが生涯にわたり自発的に学習することができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会の実現」を目指し、その具体的な指針となる第二次長野市生涯学習推進計画を策定したいので、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第 2 条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

## 長野市生涯学習推進計画策定委員会の答申

平成 29 年 1 月 26 日

長野市長 加藤 久雄 様

長野市教育委員会 様

長野市生涯学習推進計画策定委員会  
委員長 越智 康詞

## 第二次長野市生涯学習推進計画の策定について（答申）

平成 27 年 1 月 28 日付け、27 生第 924 号で諮問のありましたこのことについて、本策定委員会で慎重審議を重ねた結果、別冊のとおり決定しましたので答申します。



## 第二次長野市生涯学習推進計画策定に係る市民意見等の募集

第二次長野市生涯学習推進計画の素案策定時点で内容を公表し、意見を募集

- 募集期間 平成 28 年 12 月 5 日から 12 月 31 日まで (27 日間)
- 閲覧場所 市役所 (教育委員会家庭・地域学びの課、行政資料コーナー)、各支所、各市立公民館、各市立図書館、生涯学習センター  
市ホームページ
- 意見等 4 件
- 意見・提案に対する市・市教育委員会の考え方

対応区分	対応方針	件数 (件)
1	計画案を修正・追加する	0
2	計画案に盛り込まれており、修正しない	3
3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする	1
4	検討の結果、計画案には反映しない。	0
5	その他 (他の計画で対応している)	0
合 計		4

## 平成27年度まちづくりアンケート報告書(抜粋)

### 調査の概要

#### (1) 調査目的

市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、満足度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの（昭和57年度から毎年実施）

#### (2) 調査対象

長野市内に在住の20歳以上の男女

#### (3) 標本の抽出

住民基本台帳（平成27年10月16日現在）からの等間隔無作為抽出

#### (4) 標本総数

5,000人

#### (5) 調査方法

返信用封筒を同封した質問票送付によるアンケート調査方式

#### (6) 調査期間

平成27年10月23日（金）から11月6日（金）

#### (7) 回収結果

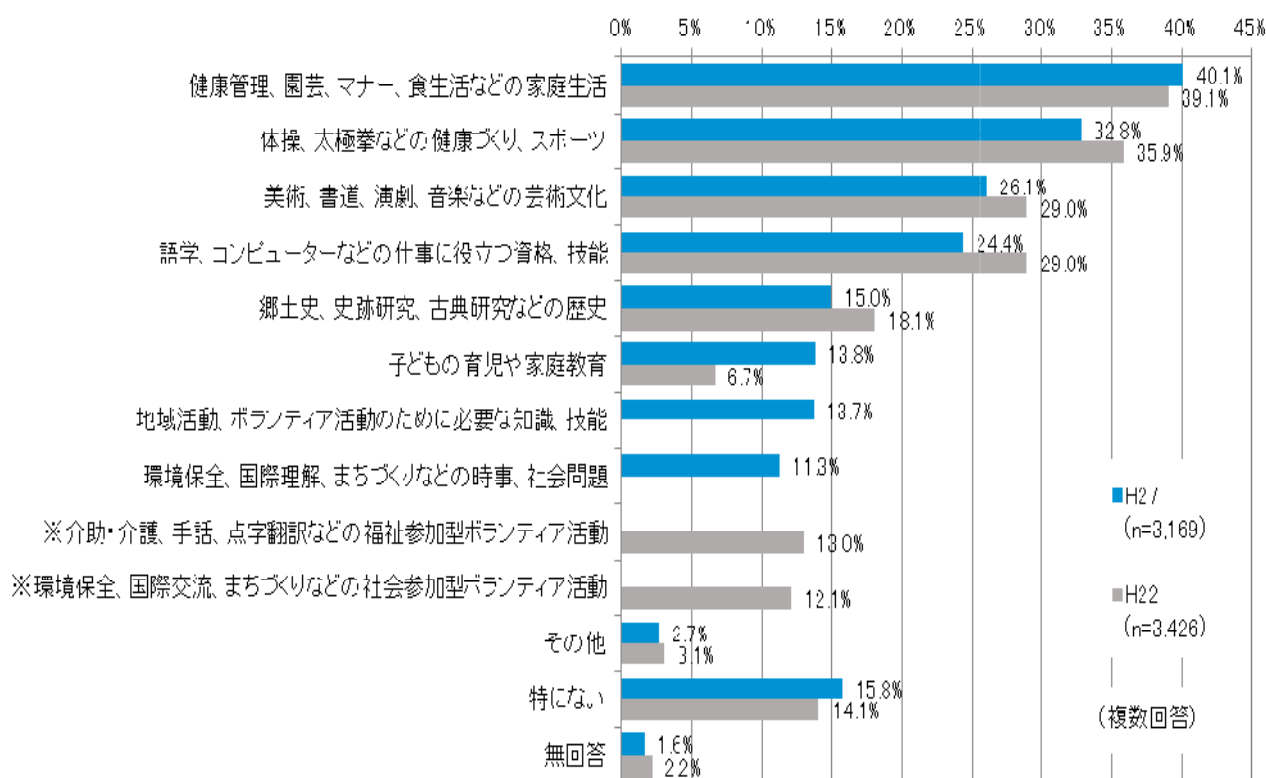
有効（送達）標本数	5,000通
無効（未送達、返送）標本数	0通
回収標本数	3,169通
回収率	63.4%

テーマ 生涯学習について（問6～問9）

目的 生涯学習に対する市民のニーズを把握し、計画策定の基礎資料とするため。

## 問6 あなたが現在学んでいること、もしくは、今後学びたいことは何ですか。(該当するもの全て選択)

		対象	子どもの育 児や家庭 教育	郷土史、史 跡研究、古 典研究など の歴史	語学、コン ピューター などの仕事 に役立つ 資格、技能	体操、太極 拳などの健 康づくり、ス ポーツ	健康管理、 園芸、マ ナー、食生 活などの家 庭生活	美術、書 道、演劇、 音楽などの 芸術文化	地域活動、 ボランティア 活動のため に必要な 知識、技能	環境保全、 国際理解、 まちづくり などの時 事、社会問 題	その他	特にな い	無回答
全体	回答数	3,169	437	474	774	1,041	1,271	827	435	357	85	501	52
	割合	-	13.8%	15.0%	24.4%	32.8%	40.1%	26.1%	13.7%	11.3%	2.7%	15.8%	1.6%
性別	男性	1,467	148	305	368	375	484	291	220	217	40	270	28
	割合	-	10.1%	20.8%	25.1%	25.6%	33.0%	19.8%	15.0%	14.8%	2.7%	18.4%	1.9%
	女性	1,664	288	162	399	654	772	528	211	138	45	223	22
	割合	-	17.3%	9.7%	24.0%	39.3%	46.4%	31.7%	12.7%	8.3%	2.7%	13.4%	1.3%
無回答	回答数	38	1	7	7	12	15	8	4	2	0	8	2
	割合	-	2.6%	18.4%	18.4%	31.6%	39.5%	21.1%	10.5%	5.3%	0.0%	21.1%	5.3%
年代	20歳代	242	77	24	98	61	79	55	23	29	9	32	4
	割合	-	31.8%	9.9%	40.5%	25.2%	32.6%	22.7%	9.5%	12.0%	3.7%	13.2%	1.7%
	30歳代	429	177	36	170	135	142	82	36	42	13	56	4
	割合	-	41.3%	8.4%	39.6%	31.5%	33.1%	19.1%	8.4%	9.8%	3.0%	13.1%	0.9%
	40歳代	554	108	63	219	195	170	141	74	54	13	80	5
	割合	-	19.5%	11.4%	39.5%	35.2%	30.7%	25.5%	13.4%	9.7%	2.3%	14.4%	0.9%
	50歳代	570	33	89	144	213	247	191	71	77	14	77	6
	割合	-	5.8%	15.6%	25.3%	37.4%	43.3%	33.5%	12.5%	13.5%	2.5%	13.5%	1.1%
	60歳代	718	25	151	99	232	319	211	136	88	17	117	13
	割合	-	3.5%	21.0%	13.8%	32.3%	44.4%	29.4%	18.9%	12.3%	2.4%	16.3%	1.8%
	70歳以上	606	12	107	34	191	289	136	89	65	18	128	20
	割合	-	2.0%	17.7%	5.6%	31.5%	47.7%	22.4%	14.7%	10.7%	3.0%	21.1%	3.3%
	無回答	50	5	4	10	14	25	11	6	2	1	11	0
	割合	-	10.0%	8.0%	20.0%	28.0%	50.0%	22.0%	12.0%	4.0%	2.0%	22.0%	0.0%
地域区分	市街地地域	1,112	155	169	289	384	419	320	138	119	32	167	14
	割合	-	13.9%	15.2%	26.0%	34.5%	37.7%	28.8%	12.4%	10.7%	2.9%	15.0%	1.3%
	市街地周辺地域	755	103	93	187	252	298	188	96	84	22	123	16
	割合	-	13.6%	12.3%	24.8%	33.4%	39.5%	24.9%	12.7%	11.1%	2.9%	16.3%	2.1%
	屏南地域	825	129	128	202	278	348	221	127	98	15	120	10
	割合	-	15.6%	15.5%	24.5%	33.7%	42.2%	26.8%	15.4%	11.9%	1.8%	14.5%	1.2%
	松代・若穂	250	27	47	46	67	107	53	36	20	7	45	8
	割合	-	10.8%	18.8%	18.4%	26.8%	42.8%	21.2%	14.4%	8.0%	2.8%	18.0%	3.2%
中山間地域	183	17	31	40	45	85	36	34	32	8	34	4	
割合	-	9.3%	16.9%	21.9%	24.6%	46.4%	19.7%	18.6%	17.5%	4.4%	18.6%	2.2%	
無回答	44	6	6	10	15	14	9	4	4	1	12	0	
割合	-	13.6%	13.6%	22.7%	34.1%	31.8%	20.5%	9.1%	9.1%	2.3%	27.3%	0.0%	
居住年数	5年未満	195	69	15	72	56	69	42	19	16	7	28	0
	割合	-	35.4%	7.7%	36.9%	28.7%	35.4%	21.5%	9.7%	8.2%	3.6%	14.4%	0.0%
	5年以上10年未満	188	59	23	68	65	67	49	22	25	6	26	2
	割合	-	31.4%	12.2%	36.2%	34.6%	35.6%	26.1%	11.7%	13.3%	3.2%	13.8%	1.1%
	10年以上20年未満	367	63	39	113	130	127	107	41	37	9	58	2
	割合	-	17.2%	10.6%	30.8%	35.4%	34.6%	29.2%	11.2%	10.1%	2.5%	15.8%	0.5%
20年以上	2,397	245	394	516	780	1,003	624	350	278	63	386	48	
割合	-	10.2%	16.4%	21.5%	32.5%	41.8%	26.0%	14.6%	11.6%	2.6%	16.1%	2.0%	
無回答	22	1	3	5	10	5	5	3	1	0	3	0	
割合	-	4.5%	13.6%	22.7%	45.5%	22.7%	22.7%	13.6%	4.5%	0.0%	13.6%	0.0%	
職業	農・林・漁業	136	7	28	15	25	53	23	20	14	3	32	5
	割合	-	5.1%	20.6%	11.0%	18.4%	39.0%	16.9%	14.7%	10.3%	2.2%	23.5%	3.7%
	工業	46	5	10	8	11	14	8	9	9	0	11	0
	割合	-	10.9%	21.7%	17.4%	23.9%	30.4%	17.4%	19.6%	19.6%	0.0%	23.9%	0.0%
	商業・自由業	185	8	33	41	55	77	50	25	35	10	31	4
	割合	-	4.3%	17.8%	22.2%	29.7%	41.6%	27.0%	13.5%	18.9%	5.4%	16.8%	2.2%
	事務系会社員	255	44	34	86	95	97	69	34	27	5	24	5
	割合	-	17.3%	13.3%	33.7%	37.3%	38.0%	27.1%	13.3%	10.6%	2.0%	9.4%	2.0%
	サービス系会社員	307	50	38	103	78	98	68	37	40	6	49	2
	割合	-	16.3%	12.4%	33.6%	25.4%	31.9%	22.1%	12.1%	13.0%	2.0%	16.0%	0.7%
	技術系会社員	321	64	48	120	91	93	64	34	36	6	45	5
	割合	-	19.9%	15.0%	37.4%	28.3%	29.0%	19.9%	10.6%	11.2%	1.9%	14.0%	1.6%
	公務員・教員	174	38	43	58	73	65	65	28	29	7	15	1
	割合	-	21.8%	24.7%	33.3%	42.0%	37.4%	37.4%	16.1%	16.7%	4.0%	8.6%	0.6%
	主婦(主夫)	639	106	68	100	269	313	198	90	45	14	78	12
	割合	-	16.6%	10.6%	15.6%	42.1%	49.0%	31.0%	14.1%	7.0%	2.2%	12.2%	1.9%
パート・アルバイト	430	70	35	128	162	180	133	51	33	10	77	3	
割合	-	16.3%	8.1%	29.8%	37.7%	41.9%	30.9%	11.9%	7.7%	2.3%	17.9%	0.7%	
無職(学生含む)	437	27	101	64	113	197	91	76	69	16	87	10	
割合	-	6.2%	23.1%	14.6%	25.9%	45.1%	20.8%	17.4%	15.8%	3.7%	19.9%	2.3%	
その他	133	14	18	33	40	46	34	15	10	7	29	1	
割合	-	10.5%	13.5%	24.8%	30.1%	34.6%	25.6%	11.3%	7.5%	5.3%	21.8%	0.8%	
無回答	106	4	18	18	29	38	24	16	10	1	23	4	
割合	-	3.8%	17.0%	17.0%	27.4%	35.8%	22.6%	15.1%	9.4%	0.9%	21.7%	3.8%	



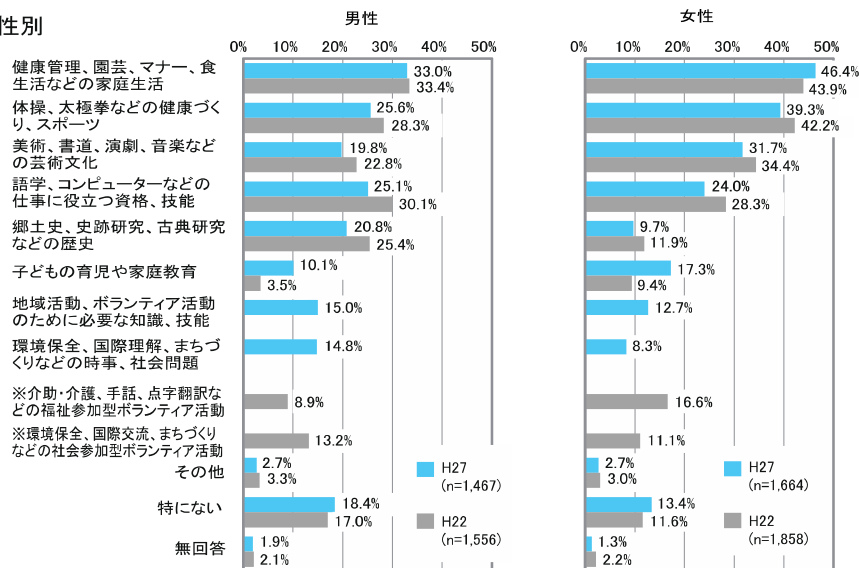
現在学んでいること、もしくは、今後学びたいことは、「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活」(40.1%)が約4割と最も多い。次に、「体操、太極拳などの健康づくり、スポーツ」(32.8%)、「美術、書道、演劇、音楽などの芸術文化」(26.1%)と続いている。

平成22年度の同様の調査と比べると、回答割合の順位としては、同じ傾向にある。しかし、「体操、太極拳などの健康づくり、スポーツ」、「美術、書道、演劇、音楽などの芸術文化」、「語学、コンピューターなどの仕事に役立つ資格、技能」、「郷土史、史跡研究、古典研究などの歴史」は、平成22年度よりも減少している。その一方で、「子どもの育児や家庭教育」は、7.1ポイント増と大きく増加している。

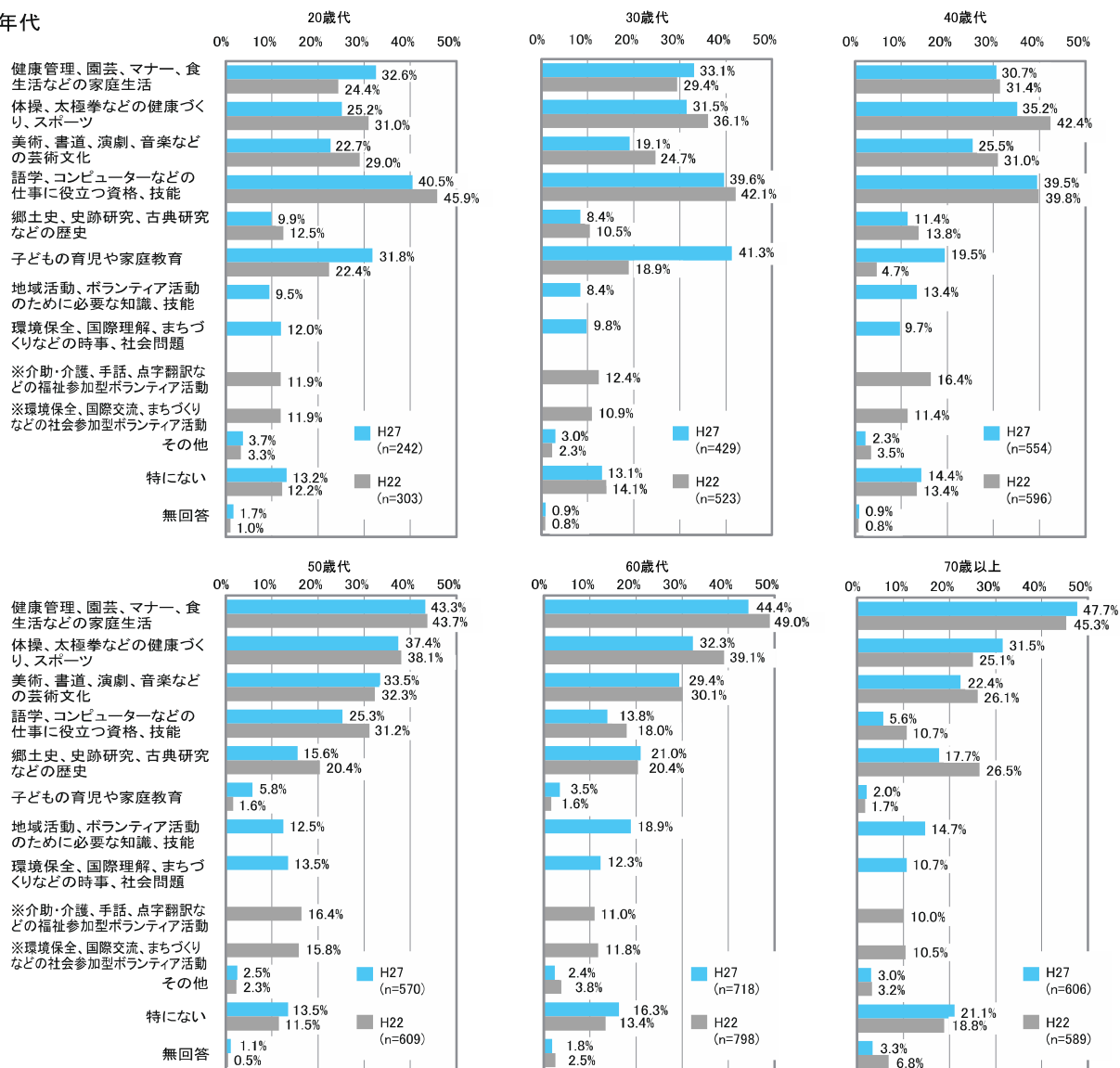
性別で見ると、「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活」、「体操、太極拳などの健康づくり、スポーツ」、「美術、書道、演劇、音楽などの芸術文化」で、女性が、男性よりも高い割合となった。一方、「郷土史、史跡研究、古典研究などの歴史」では、男性が女性よりも高い割合となった。

年代で見ると、20～40歳代では、「語学、コンピューターなどの仕事に役立つ資格、技能」が約4割と多く、年代が上がるに従って、割合は下がっている。また、「子どもの育児や家庭教育」は、20歳代で約3割、30歳代では約4割と高く、30歳代では最も回答が多い。一方、50歳代以上では、「健康管理、園芸、マナー、食生活などの家庭生活」が4割を超え、最も多い。

◆性別

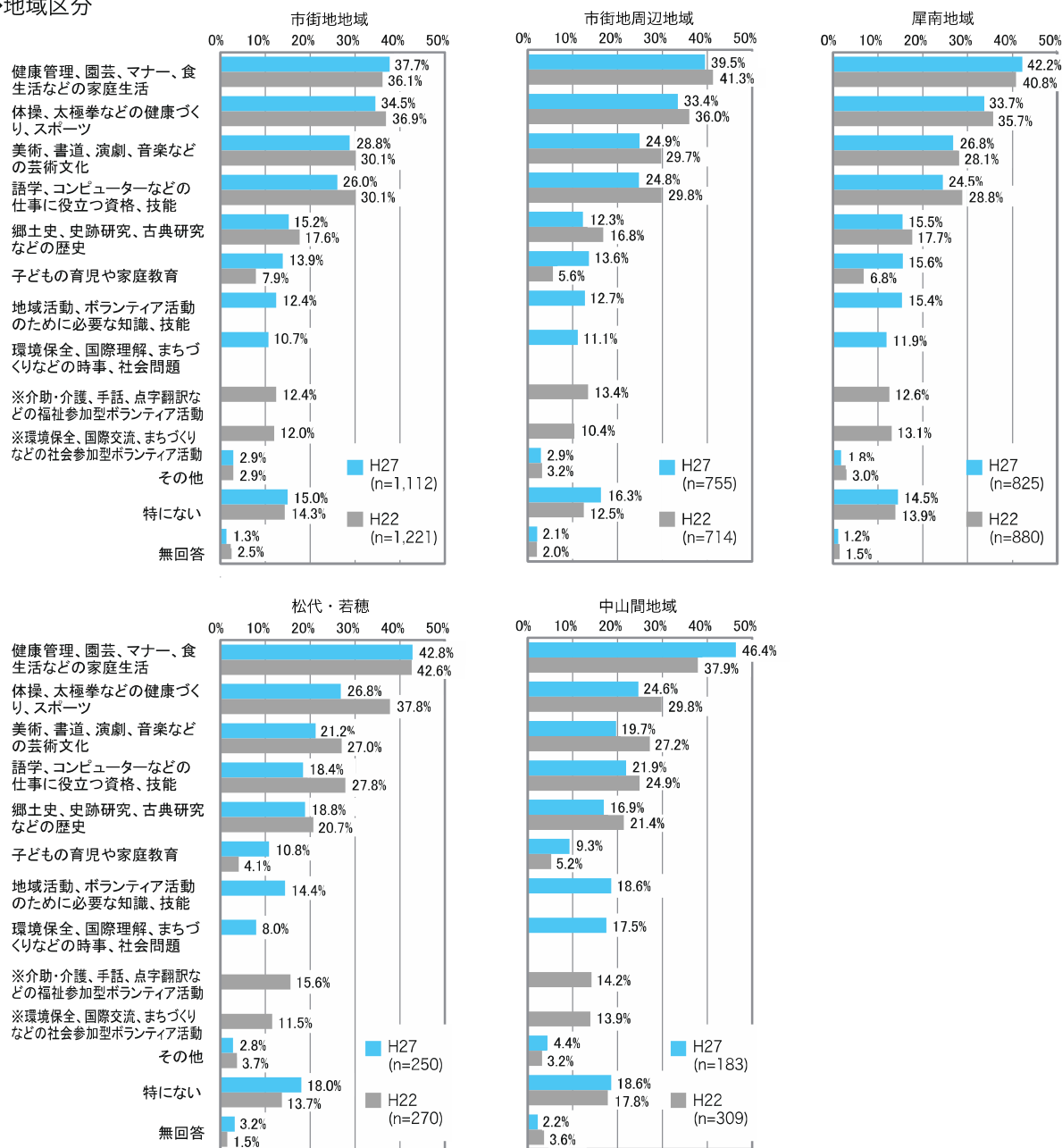


◆年代



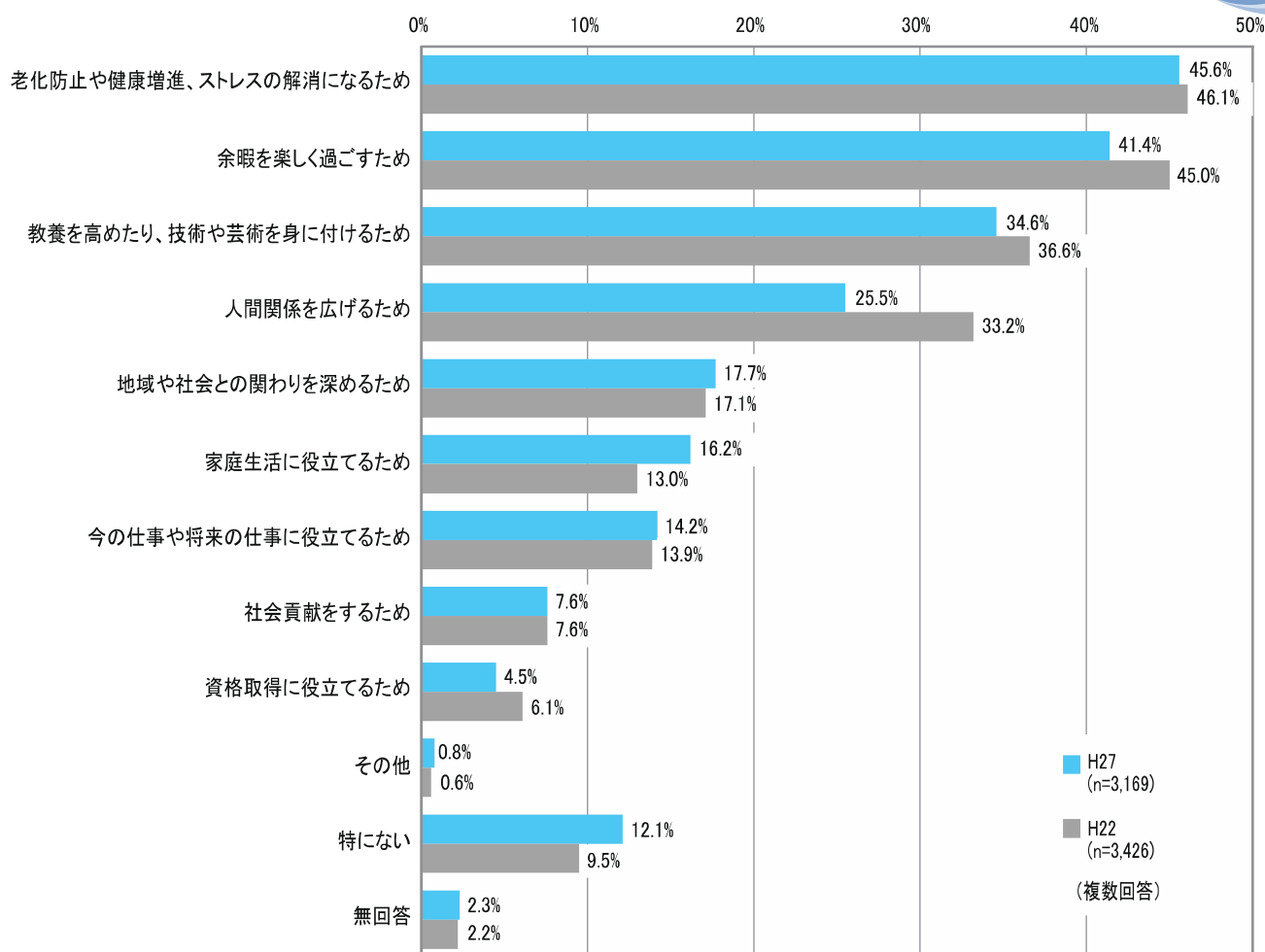


◆地域区分



問7 あなたは、生涯学習活動をどんな目的で行っていますか。または、行いたいと思いますか。該当する番号3つ以内に○印をつけてください。

		対象	教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため	人間関係を広げるため	余暇を楽しく過ごすため	地域や社会との関わりを深めるため	社会貢献をするため	老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため	家庭生活に役立てるため	今の仕事や将来の仕事に役立てるため	資格取得に役立てるため	その他	特にない	無回答	
全体	回答数	3,169	1,095	808	1,311	562	242	1,446	514	451	144	24	383	73	
	割合	-	34.6%	25.5%	41.4%	17.7%	7.6%	45.6%	16.2%	14.2%	4.5%	0.8%	12.1%	2.3%	
性別	男性	回答数	1,467	491	379	583	295	137	569	166	226	67	11	217	40
		割合	-	33.5%	25.8%	39.7%	20.1%	9.3%	38.8%	11.3%	15.4%	4.6%	0.7%	14.8%	2.7%
	女性	回答数	1,664	594	418	714	264	104	861	345	222	75	13	161	30
		割合	-	35.7%	25.1%	42.9%	15.9%	6.3%	51.7%	20.7%	13.3%	4.5%	0.8%	9.7%	1.8%
	無回答	回答数	38	10	11	14	3	1	16	3	3	2	0	5	3
	割合	-	26.3%	28.9%	36.8%	7.9%	2.6%	42.1%	7.9%	7.9%	5.3%	0.0%	13.2%	7.9%	
年代	20歳代	回答数	242	95	52	82	8	11	49	51	88	31	0	33	4
		割合	-	39.3%	21.5%	33.9%	3.3%	4.5%	20.2%	21.1%	36.4%	12.8%	0.0%	13.6%	1.7%
	30歳代	回答数	429	193	96	139	51	24	115	114	122	45	0	48	5
		割合	-	45.0%	22.4%	32.4%	11.9%	5.6%	26.8%	26.6%	28.4%	10.5%	0.0%	11.2%	1.2%
	40歳代	回答数	554	250	148	196	79	33	176	97	125	40	6	66	7
		割合	-	45.1%	26.7%	35.4%	14.3%	6.0%	31.8%	17.5%	22.6%	7.2%	1.1%	11.9%	1.3%
	50歳代	回答数	570	238	136	248	101	69	286	71	71	12	4	56	8
		割合	-	41.8%	23.9%	43.5%	17.7%	12.1%	50.2%	12.5%	12.5%	2.1%	0.7%	9.8%	1.4%
	60歳代	回答数	718	205	183	363	168	61	411	96	31	7	7	84	17
		割合	-	28.6%	25.5%	50.6%	23.4%	8.5%	57.2%	13.4%	4.3%	1.0%	1.0%	11.7%	2.4%
70歳以上	回答数	606	99	180	262	148	42	388	77	6	8	7	89	30	
	割合	-	16.3%	29.7%	43.2%	24.4%	6.9%	64.0%	12.7%	1.0%	1.3%	1.2%	14.7%	5.0%	
	無回答	回答数	50	15	13	21	7	2	21	8	8	1	0	7	2
	割合	-	30.0%	26.0%	42.0%	14.0%	4.0%	42.0%	16.0%	16.0%	2.0%	0.0%	14.0%	4.0%	
地域区分	市街地地域	回答数	1,112	422	277	458	188	89	481	164	165	57	11	142	18
		割合	-	37.9%	24.9%	41.2%	16.9%	8.0%	43.3%	14.7%	14.8%	5.1%	1.0%	12.8%	1.6%
	市街地周辺地域	回答数	755	242	176	317	138	62	352	116	101	30	6	89	21
		割合	-	32.1%	23.3%	42.0%	18.3%	8.2%	46.6%	15.4%	13.4%	4.0%	0.8%	11.8%	2.8%
	犀南地域	回答数	825	295	211	343	135	54	392	154	125	42	2	90	12
		割合	-	35.8%	25.6%	41.6%	16.4%	6.5%	47.5%	18.7%	15.2%	5.1%	0.2%	10.9%	1.5%
	松代・若穂	回答数	250	73	77	106	54	17	115	43	33	6	1	30	8
	割合	-	29.2%	30.8%	42.4%	21.6%	6.8%	46.0%	17.2%	13.2%	2.4%	0.4%	12.0%	3.2%	
中山間地域	回答数	183	49	57	72	42	18	91	34	17	5	2	21	14	
	割合	-	26.8%	31.1%	39.3%	23.0%	9.8%	49.7%	18.6%	9.3%	2.7%	1.1%	11.5%	7.7%	
	無回答	回答数	44	14	10	15	5	2	15	3	10	4	2	11	0
	割合	-	31.8%	22.7%	34.1%	11.4%	4.5%	34.1%	6.8%	22.7%	9.1%	4.5%	25.0%	0.0%	
居住年数	5年未満	回答数	195	76	42	69	17	13	61	51	51	19	0	28	1
		割合	-	39.0%	21.5%	35.4%	8.7%	6.7%	31.3%	26.2%	26.2%	9.7%	0.0%	14.4%	0.5%
	5年以上10年未満	回答数	188	87	43	59	33	13	64	43	41	16	1	22	2
		割合	-	46.3%	22.9%	31.4%	17.6%	6.9%	34.0%	22.9%	21.8%	8.5%	0.5%	11.7%	1.1%
	10年以上20年未満	回答数	367	168	86	139	40	40	133	52	65	27	2	49	2
		割合	-	45.8%	23.4%	37.9%	10.9%	10.9%	36.2%	14.2%	17.7%	7.4%	0.5%	13.4%	0.5%
20年以上	回答数	2,397	755	630	1,038	469	175	1,176	367	290	81	21	281	68	
	割合	-	31.5%	26.3%	43.3%	19.6%	7.3%	49.1%	15.3%	12.1%	3.4%	0.9%	11.7%	2.8%	
	無回答	回答数	22	9	7	6	3	1	12	1	4	1	0	3	0
	割合	-	40.9%	31.8%	27.3%	13.6%	4.5%	54.5%	4.5%	18.2%	4.5%	0.0%	13.6%	0.0%	
職業	農・林・漁業	回答数	136	23	40	47	36	8	80	15	13	2	2	18	11
		割合	-	16.9%	29.4%	34.6%	26.5%	5.9%	58.8%	11.0%	9.6%	1.5%	1.5%	13.2%	8.1%
	工業	回答数	46	13	12	22	9	3	17	8	11	2	0	6	2
		割合	-	28.3%	26.1%	47.8%	19.6%	6.5%	37.0%	17.4%	23.9%	4.3%	0.0%	13.0%	4.3%
	商業・自由業	回答数	185	52	61	64	41	23	92	20	23	5	0	25	4
		割合	-	28.1%	33.0%	34.6%	22.2%	12.4%	49.7%	10.8%	12.4%	2.7%	0.0%	13.5%	2.2%
	事務系会社員	回答数	255	118	68	116	41	13	104	37	48	13	0	18	5
		割合	-	46.3%	26.7%	45.5%	16.1%	5.1%	40.8%	14.5%	18.8%	5.1%	0.0%	7.1%	2.0%
	サービス系会社員	回答数	307	107	69	107	44	34	97	46	83	30	2	35	7
		割合	-	34.9%	22.5%	34.9%	14.3%	11.1%	31.6%	15.0%	27.0%	9.8%	0.7%	11.4%	2.3%
	技術系会社員	回答数	321	144	71	137	42	21	93	54	73	27	0	41	5
		割合	-	44.9%	22.1%	42.7%	13.1%	6.5%	29.0%	16.8%	22.7%	8.4%	0.0%	12.8%	1.6%
	公務員・教員	回答数	174	94	57	74	35	19	72	28	33	5	2	10	2
		割合	-	54.0%	32.8%	42.5%	20.1%	10.9%	41.4%	16.1%	19.0%	2.9%	1.1%	5.7%	1.1%
	主婦(主夫)	回答数	639	204	179	284	127	43	379	135	29	17	3	57	15
		割合	-	31.9%	28.0%	44.4%	19.9%	6.7%	59.3%	21.1%	4.5%	2.7%	0.5%	8.9%	2.3%
パート・アルバイト	回答数	430	150	94	171	59	29	194	81	63	18	3	56	5	
	割合	-	34.9%	21.9%	39.8%	13.7%	6.7%	45.1%	18.8%	14.7%	4.2%	0.7%	13.0%	1.2%	
無職(学生含む)	回答数	437	119	94	205	92	34	221	59	36	14	7	69	12	
	割合	-	27.2%	21.5%	46.9%	21.1%	7.8%	50.6%	13.5%	8.2%	3.2%	1.6%	15.8%	2.7%	
その他	回答数	133	44	29	52	17	8	50	17	27	6	5	25	1	
	割合	-	33.1%	21.8%	39.1%	12.8%	6.0%	37.6%	12.8%	20.3%	4.5%	3.8%	18.8%	0.8%	
	無回答	回答数	106	27	34	32	19	7	47	14	12	5	0	23	4
	割合	-	25.5%	32.1%	30.2%	17.9%	6.6%	44.3%	13.2%	11.3%	4.7%	0.0%	21.7%	3.8%	



生涯学習活動の目的としては、「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」(45.6%)が最も多い。次に、「余暇を楽しく過ごすため」(41.4%)、「教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため」(34.6%)と続いている。

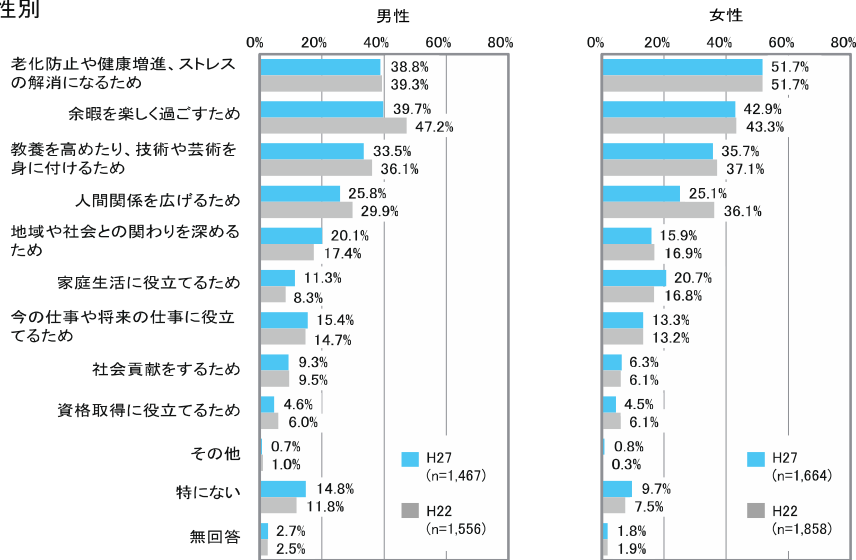
平成22年度の同様の調査と比較すると、回答割合の順位は同様の傾向にあるものの、その割合は、やや減少している。特に、「人間関係を広げるため」は7.7ポイントの減少となった。一方、「家庭生活に役立てるため」、「今の仕事や将来の仕事に役立てるため」が増えている。このことから、本年度、内閣府が実施した「教育・生涯学習に関する世論調査」において、「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」が唯一増えた結果と同様に、実益重視の傾向が見られる。なお、「特にない」については、平成22年度よりも高い割合となっている。

性別で見ると、女性は、「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」が約5割と最も多い回答となった。一方、男性は、「余暇を楽しく過ごすため」と「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」が約4割と、ほぼ同じ割合であった。

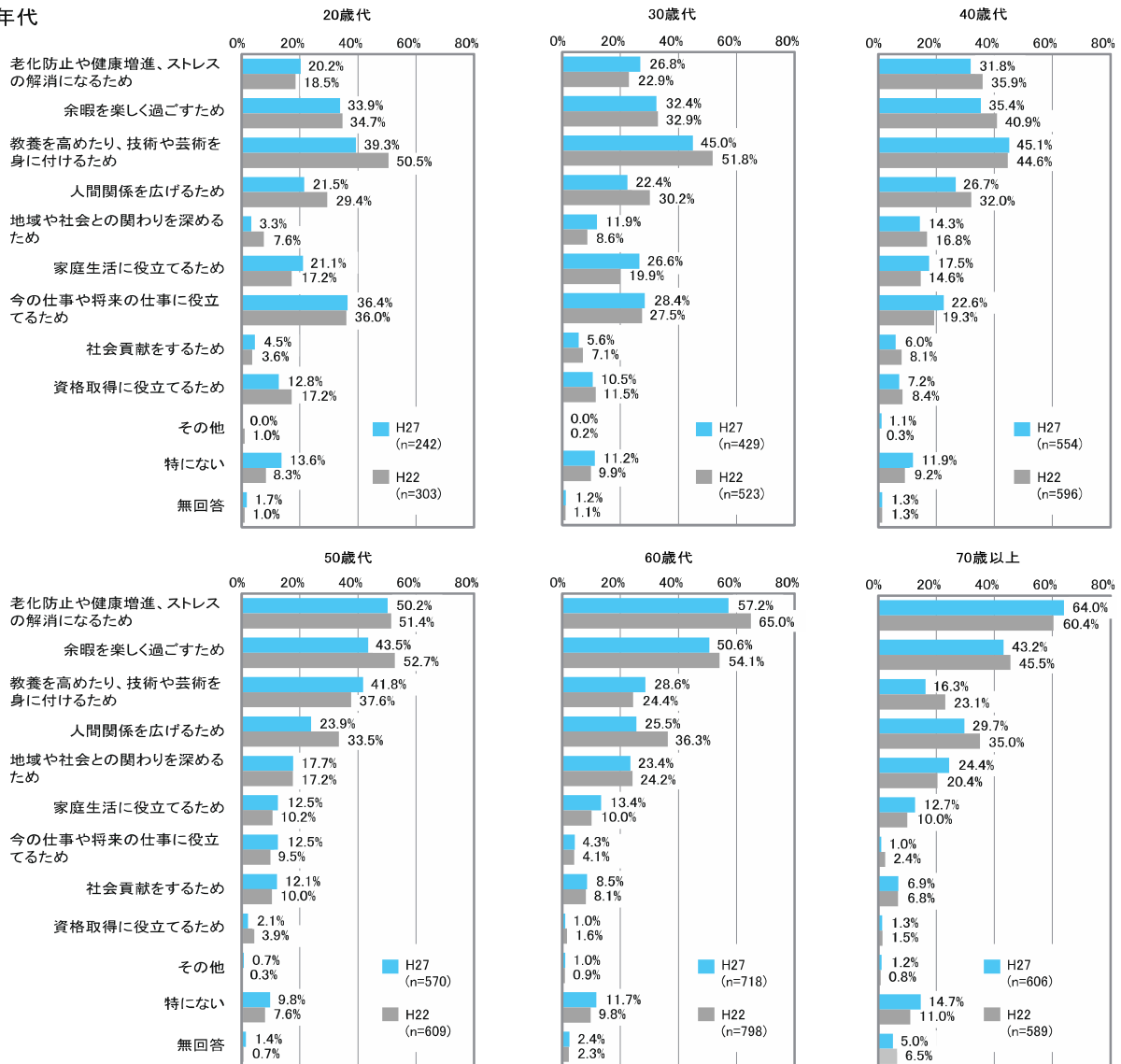
年代で見ると、20～40歳代では、「教養を高めたり、技術や芸術を身に付けるため」が4～5割と最も多い。また、「今の仕事や将来の仕事に役立てるため」は、20歳代で約4割、30歳代で約3割となった。一方、50歳代以上では、「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」の割合が5割を超えている。特に、70歳以上では6割を超えている。

地域区分で見ると、各地域とも、「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」が多く、次に「余暇を楽しく過ごすため」が続いている。特に、中山間地域では、「余暇を楽しく過ごすため」よりも、「老化防止や健康増進、ストレスの解消になるため」が10.4ポイント高い割合となった。

◆性別



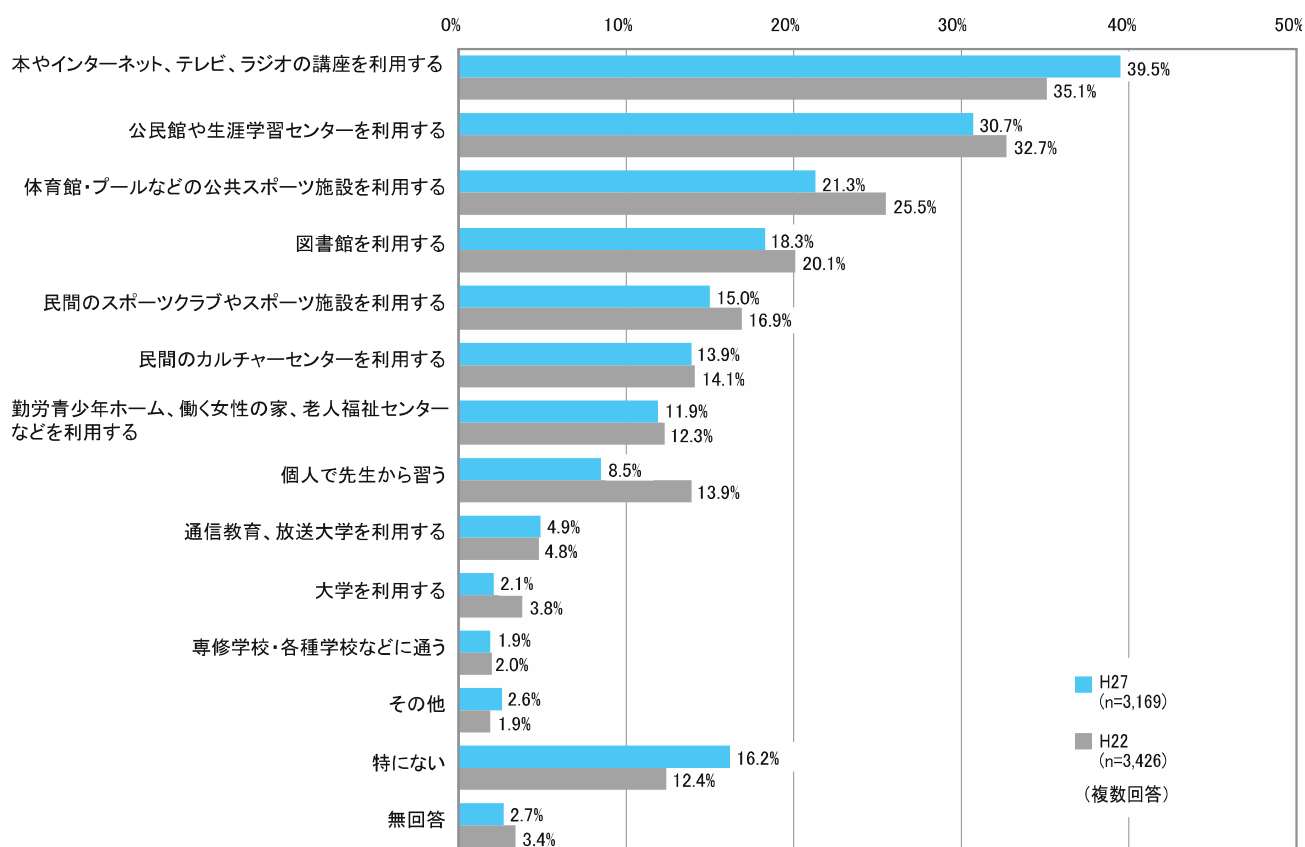
◆年代



問8 あなたは生涯学習活動を主にどのような方法で行っていますか。または、行いたいと思いますか。  
該当する番号3つ以内に○印をつけてください。

		対象	本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する	公民館や生涯学習センターを利用する	図書館を利用する	体育館・プールなどの公共スポーツ施設を利用する	勤労青少年ホーム、働く女性の家、老人福祉センターなどを利用する	民間のスポーツクラブやスポーツ施設を利用する	民間のカルチャーセンターを利用する	専修学校・各種学校などに通う	大学を利用する	通信教育、放送大学を利用する	個人で先生から習う	その他	特にない	無回答	
全体	回答数	3,169	1,251	973	580	676	378	474	440	61	68	154	268	83	512	87	
	割合	-	39.5%	30.7%	18.3%	21.3%	11.9%	15.0%	13.9%	1.9%	2.1%	4.9%	8.5%	2.6%	16.2%	2.7%	
性別	男性	回答数	1,467	668	360	280	311	97	215	129	29	38	71	82	47	283	48
		割合	-	45.5%	24.5%	19.1%	21.2%	6.6%	14.7%	8.8%	2.0%	2.6%	4.8%	5.6%	3.2%	19.3%	3.3%
	女性	回答数	1,664	569	605	296	358	278	254	305	30	30	80	184	36	224	37
	割合	-	34.2%	36.4%	17.8%	21.5%	16.7%	15.3%	18.3%	1.8%	1.8%	4.8%	11.1%	2.2%	13.5%	2.2%	
無回答	回答数	38	14	8	4	7	3	5	6	2	0	3	2	0	5	2	
		割合	-	36.8%	21.1%	10.5%	18.4%	7.9%	13.2%	15.8%	5.3%	0.0%	7.9%	5.3%	0.0%	13.2%	5.3%
	20歳代	回答数	242	122	25	53	51	8	31	17	13	21	16	19	5	43	6
	割合	-	50.4%	10.3%	21.9%	21.1%	3.3%	12.8%	7.0%	5.4%	8.7%	6.6%	7.9%	2.1%	17.8%	2.5%	
30歳代	回答数	429	222	81	89	96	41	66	53	13	6	35	33	9	68	5	
	割合	-	51.7%	18.9%	20.7%	22.4%	9.6%	15.4%	12.4%	3.0%	1.4%	8.2%	7.7%	2.1%	15.9%	1.2%	
40歳代	回答数	554	243	132	114	125	47	96	96	16	12	34	63	18	75	10	
	割合	-	43.9%	23.8%	20.6%	22.6%	8.5%	17.3%	17.3%	2.9%	2.2%	6.1%	11.4%	3.2%	13.5%	1.8%	
50歳代	回答数	570	249	186	112	128	72	99	88	6	11	28	53	11	73	7	
	割合	-	43.7%	32.6%	19.6%	22.5%	12.6%	17.4%	15.4%	1.1%	1.9%	4.9%	9.3%	1.9%	12.8%	1.2%	
60歳代	回答数	718	259	274	118	152	109	104	100	8	13	29	51	24	111	20	
	割合	-	36.1%	38.2%	16.4%	21.2%	15.2%	14.5%	13.9%	1.1%	1.8%	4.0%	7.1%	3.3%	15.5%	2.8%	
70歳以上	回答数	606	143	259	88	114	92	73	77	3	4	8	45	15	134	37	
	割合	-	23.6%	42.7%	14.5%	18.8%	15.2%	12.0%	12.7%	0.5%	0.7%	1.3%	7.4%	2.5%	22.1%	6.1%	
無回答	回答数	50	13	16	6	10	9	5	9	2	1	4	4	1	8	2	
	割合	-	26.0%	32.0%	12.0%	20.0%	18.0%	10.0%	18.0%	4.0%	2.0%	8.0%	8.0%	2.0%	16.0%	4.0%	
地域区分	市街地地域	回答数	1,112	436	326	220	213	138	182	192	26	30	70	93	27	174	25
		割合	-	39.2%	29.3%	19.8%	19.2%	12.4%	16.4%	17.3%	2.3%	2.7%	6.3%	8.4%	2.4%	15.6%	2.2%
	市街地周辺地域	回答数	755	274	253	121	179	82	110	91	12	12	30	57	18	132	22
		割合	-	36.3%	33.5%	16.0%	23.7%	10.9%	14.8%	12.1%	1.6%	1.6%	4.0%	7.5%	2.4%	17.5%	2.9%
	犀南地域	回答数	825	339	250	163	197	109	128	111	12	18	33	76	16	123	15
		割合	-	41.1%	30.3%	19.8%	23.9%	13.2%	15.5%	13.5%	1.5%	2.2%	4.0%	9.2%	1.9%	14.9%	1.8%
	松代・若穂	回答数	250	110	74	38	56	29	32	26	5	3	8	21	11	45	12
	割合	-	44.0%	29.6%	15.2%	22.4%	11.6%	12.8%	10.4%	2.0%	1.2%	3.2%	8.4%	4.4%	18.0%	4.8%	
中山間地域	回答数	183	75	61	32	26	15	19	11	4	5	10	16	9	26	13	
	割合	-	41.0%	33.3%	17.5%	14.2%	8.2%	10.4%	6.0%	2.2%	2.7%	5.5%	8.7%	4.9%	14.2%	7.1%	
無回答	回答数	44	17	9	6	5	5	3	9	2	0	3	5	2	12	0	
	割合	-	38.6%	20.5%	13.6%	11.4%	11.4%	6.8%	20.5%	4.5%	0.0%	6.8%	11.4%	4.5%	27.3%	0.0%	
居住年数	5年未満	回答数	195	106	45	44	33	11	28	25	2	5	10	12	5	36	3
		割合	-	54.4%	23.1%	22.6%	16.9%	5.6%	14.4%	12.8%	1.0%	2.6%	5.1%	6.2%	2.6%	18.5%	1.5%
	5年以上10年未満	回答数	188	82	58	46	38	27	31	27	5	2	14	17	10	26	2
		割合	-	43.6%	30.9%	24.5%	20.2%	14.4%	16.5%	14.4%	2.7%	1.1%	7.4%	9.0%	5.3%	13.8%	1.1%
	10年以上20年未満	回答数	367	160	98	82	80	37	58	54	9	16	18	28	7	59	3
		割合	-	43.6%	26.7%	22.3%	21.8%	10.1%	15.8%	14.7%	2.5%	4.4%	4.9%	7.6%	1.9%	16.1%	0.8%
20年以上	回答数	2,397	895	766	405	519	301	356	329	44	45	110	210	61	388	79	
	割合	-	37.3%	32.0%	16.9%	21.7%	12.6%	14.9%	13.7%	1.8%	1.9%	4.6%	8.8%	2.5%	16.2%	3.3%	
無回答	回答数	22	8	6	3	6	2	1	5	1	0	2	1	0	3	0	
	割合	-	36.4%	27.3%	13.6%	27.3%	9.1%	4.5%	22.7%	4.5%	0.0%	9.1%	4.5%	0.0%	13.6%	0.0%	
職業	農・林・漁業	回答数	136	44	52	13	20	9	13	10	2	2	3	9	5	27	12
		割合	-	32.4%	38.2%	9.6%	14.7%	6.6%	9.6%	7.4%	1.5%	1.5%	2.2%	6.6%	3.7%	19.9%	8.8%
	工業	回答数	46	21	10	4	8	4	6	4	1	0	2	7	2	8	1
		割合	-	45.7%	21.7%	8.7%	17.4%	8.7%	13.0%	8.7%	2.2%	0.0%	4.3%	15.2%	4.3%	17.4%	2.2%
	商業・自由業	回答数	185	70	45	22	31	13	30	18	4	6	4	20	7	33	7
		割合	-	37.8%	24.3%	11.9%	16.8%	7.0%	16.2%	9.7%	2.2%	3.2%	2.2%	10.8%	3.8%	17.8%	3.8%
	事務系会社員	回答数	255	118	54	40	56	21	60	52	9	6	21	25	3	26	5
		割合	-	46.3%	21.2%	15.7%	22.0%	8.2%	23.5%	20.4%	3.5%	2.4%	8.2%	9.8%	1.2%	10.2%	2.0%
	サービス系会社員	回答数	307	133	70	62	69	27	57	44	9	5	28	19	5	44	7
		割合	-	43.3%	22.8%	20.2%	22.5%	8.8%	18.6%	14.3%	2.9%	1.6%	9.1%	6.2%	1.6%	14.3%	2.3%
	技術系会社員	回答数	321	173	69	59	80	13	40	32	6	5	18	20	6	49	5
		割合	-	53.9%	21.5%	18.4%	24.9%	4.0%	12.5%	10.0%	1.9%	1.6%	5.6%	6.2%	1.9%	15.3%	1.6%
	公務員・教員	回答数	174	88	59	55	59	15	37	20	2	10	10	22	4	11	2
		割合	-	50.6%	33.9%	31.6%	33.9%	8.6%	21.3%	11.5%	1.1%	5.7%	5.7%	12.6%	2.3%	6.3%	1.1%
	主婦(主夫)	回答数	639	191	300	110	150	122	77	118	4	6	20	61	10	86	21
		割合	-	29.9%	46.9%	17.2%	23.5%	19.1%	12.1%	18.5%	0.6%	0.9%	3.1%	9.5%	1.6%	13.5%	3.3%
	パート・アルバイト	回答数	430	161	123	71	82	70	64	69	5	3	22	43	13	81	5
	割合	-	37.4%	28.6%	16.5%	19.1%	16.3%	14.9%	16.0%	1.2%	0.7%	5.1%	10.0%	3.0%	18.8%	1.2%	
無職(学生含む)	回答数	437	162	130	109	80	52	60	39	13	23	13	19	18	87	19	
	割合	-	37.1%	29.7%	24.9%	18.3%	11.9%	13.7%	8.9%	3.0%	5.3%	3.0%	4.3%	4.1%	19.9%	4.3%	
その他	回答数	133	59	30	23	23	19	16	18	3	1	6	13	8	31	0	
	割合	-	44.4%	22.6%	17.3%	17.3%	14.3%	12.0%	13.5%	2.3%	0.8%	4.5%	9.8%	6.0%	23.3%	0.0%	
無回答	回答数	106	31	31	12	18	13	14	16	3	1	7	10	2	29	3	
	割合	-	29.2%	29.2%	11.3%	17.0%	12.3%	13.2%	15.1%	2.8%	0.9%	6.6%	9.4%	1.9%	27.4%	2.8%	





生涯学習活動の主な方法としては、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」(39.5%)が約4割と最も多い。次に、「公民館や生涯学習センターを利用する」(30.7%)、「体育館・プールなどの公共スポーツ施設を利用する」(21.3%)と続いている。

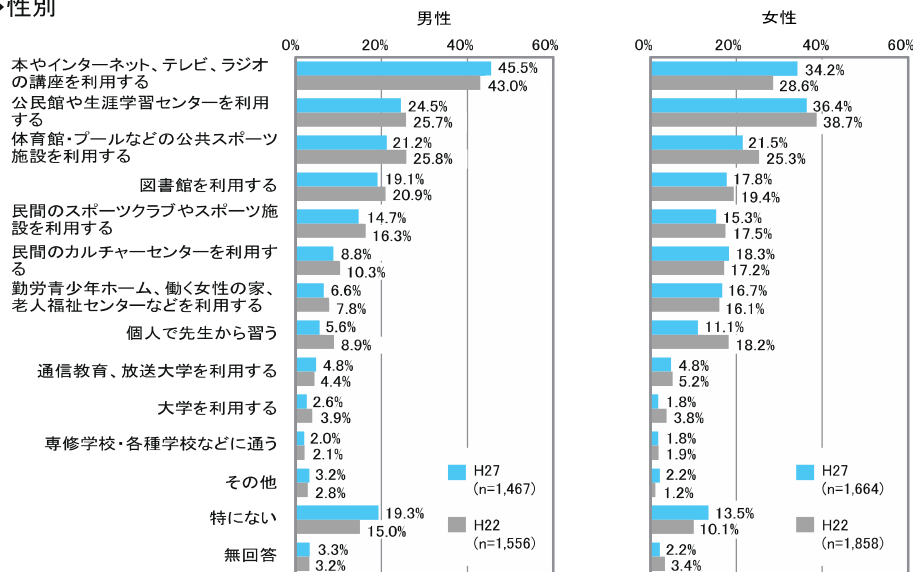
平成22年度の同様の調査と比較すると、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」という回答割合は、平成27年度が4.4ポイント高くなった。また、「特にない」も平成27年度が3.8ポイント高くなった。一方、「個人で先生から習う」は5.4ポイント、「体育館・プールなどの公共スポーツ施設を利用する」は4.2ポイント低くなった。

性別で見ると、男性では「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」が最も多い。一方、女性では、「公民館や生涯学習センターを利用する」が、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」よりもやや多くなった。

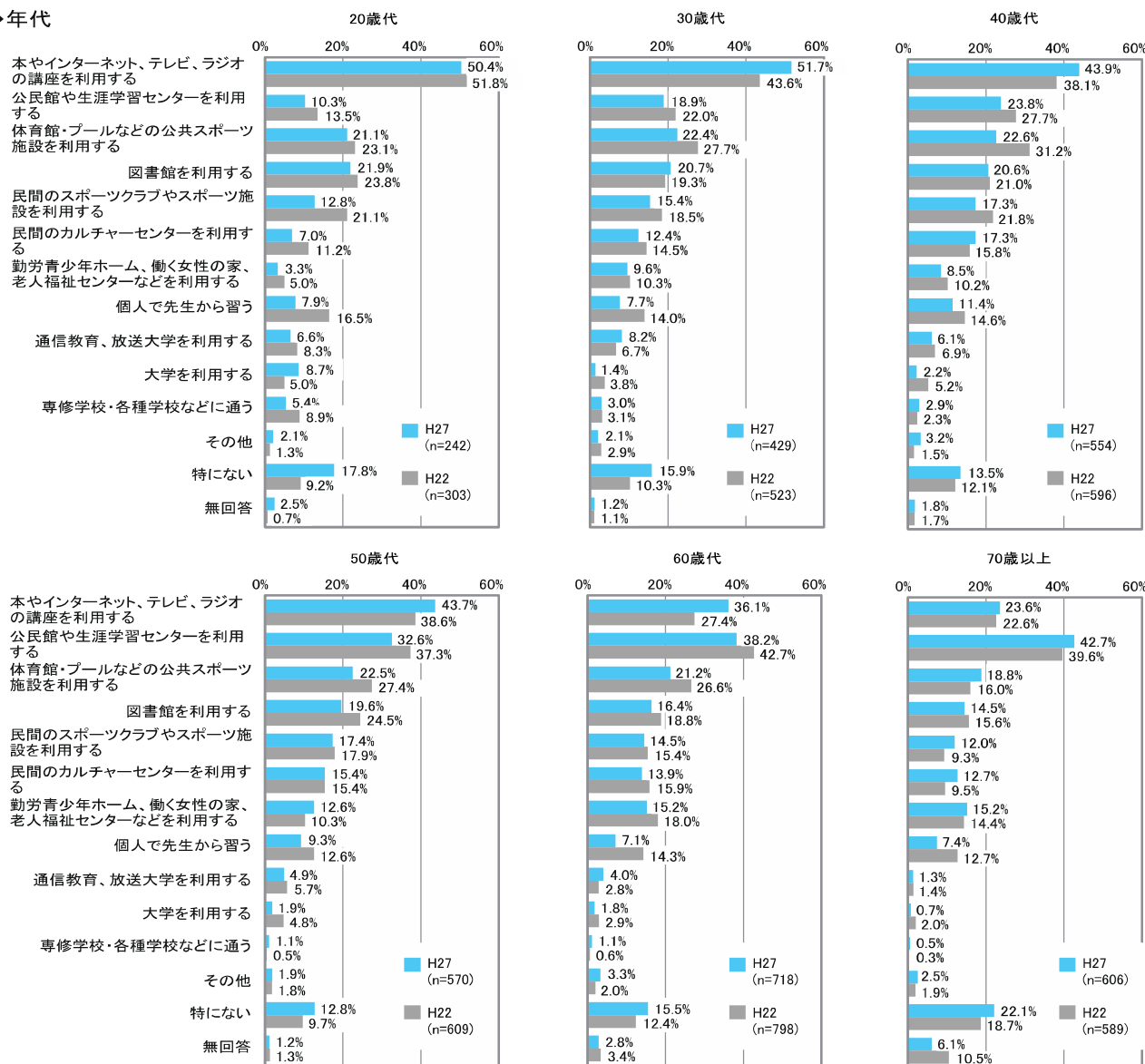
年代で見ると、20～50歳代は「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」が一番多く、特に、20歳代、30歳代では、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」が約5割であった。一方、60歳代、70歳以上では、「公民館や生涯学習センターを利用する」が約4割と最も多い。

地域区分で見ると、市街地周辺地域以外では、「本やインターネット、テレビ、ラジオの講座を利用する」が平成22年度よりも回答割合が高くなり、「公民館や生涯学習センターを利用する」が平成22年度よりも回答割合が低くなったが、市街地周辺地域では、この2項目が平成22年度とほぼ同じ結果であった。

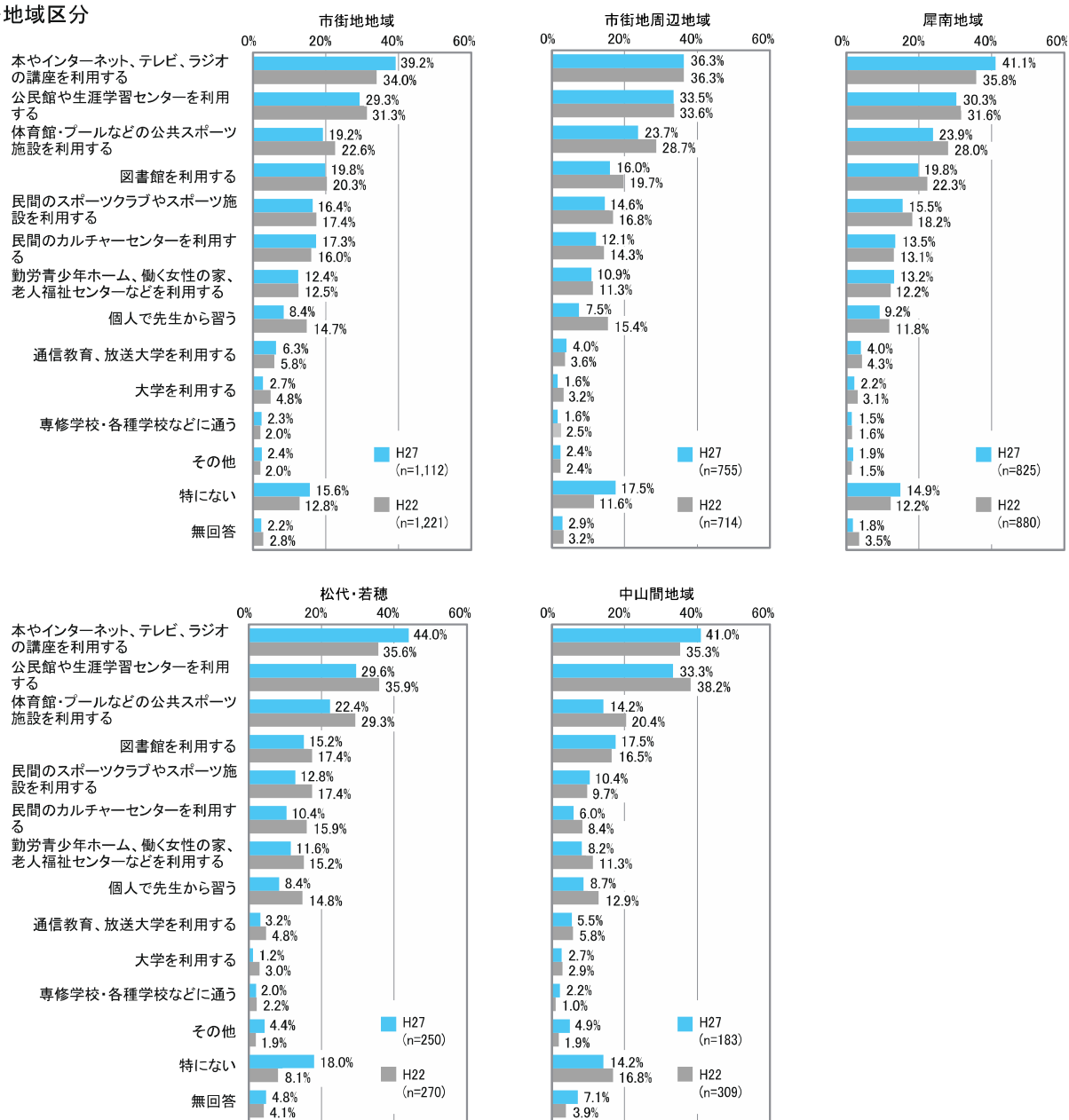
◆性別



◆年代

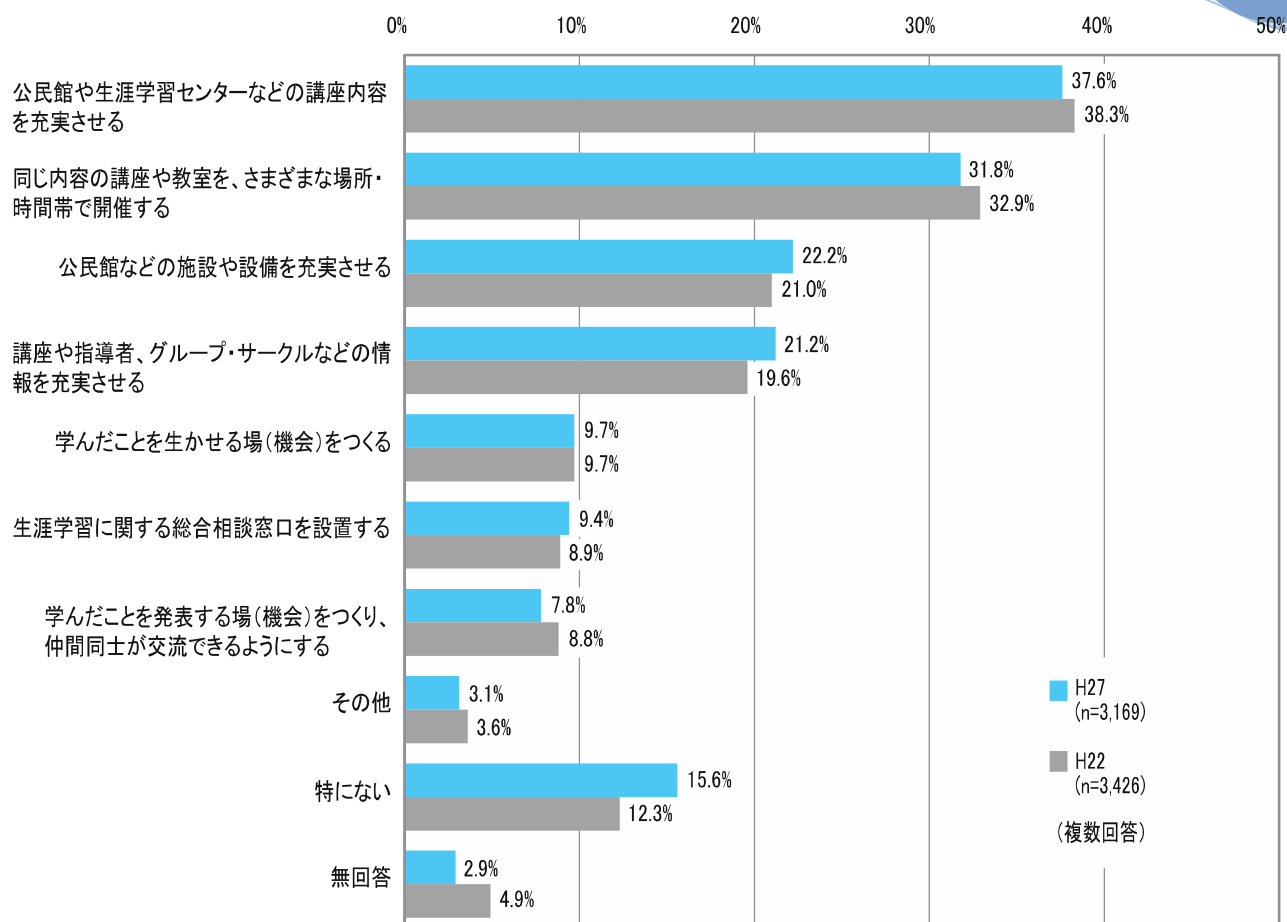


◆地域区分



問9 生涯学習活動をさらに充実させるため、長野市が特に力を入れて取り組むべきものは何だと思えますか。該当する番号2つ以内に○印をつけてください。

		対象	公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる	同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する	公民館などの施設や設備を充実させる	学んだことを発表する場(機会)をつくり、仲間同士が交流できるようにする	学んだことを生かせる場(機会)をつくる	講座や指導者、グループ・サークルなどの情報を充実させる	生涯学習に関する総合相談窓口を設置する	その他	特になし	無回答	
			回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数
全体			3,169	1,192	1,007	702	248	306	672	297	98	493	92
			-	37.6%	31.8%	22.2%	7.8%	9.7%	21.2%	9.4%	3.1%	15.6%	2.9%
性別	男性	回答数	1,467	483	362	327	127	148	341	152	49	274	50
		割合	-	32.9%	24.7%	22.3%	8.7%	10.1%	23.2%	10.4%	3.3%	18.7%	3.4%
	女性	回答数	1,664	698	632	369	117	154	325	142	47	212	40
		割合	-	41.9%	38.0%	22.2%	7.0%	9.3%	19.5%	8.5%	2.8%	12.7%	2.4%
	無回答	回答数	38	11	13	6	4	4	6	3	2	7	2
		割合	-	28.9%	34.2%	15.8%	10.5%	10.5%	15.8%	7.9%	5.3%	18.4%	5.3%
年代	20歳代	回答数	242	63	68	52	23	28	61	19	10	45	6
		割合	-	26.0%	28.1%	21.5%	9.5%	11.6%	25.2%	7.9%	4.1%	18.6%	2.5%
	30歳代	回答数	429	146	167	61	29	48	90	35	19	58	5
		割合	-	34.0%	38.9%	14.2%	6.8%	11.2%	21.0%	8.2%	4.4%	13.5%	1.2%
	40歳代	回答数	554	199	213	92	35	50	145	63	24	70	10
		割合	-	35.9%	38.4%	16.6%	6.3%	9.0%	26.2%	11.4%	4.3%	12.6%	1.8%
	50歳代	回答数	570	223	200	114	40	56	132	65	14	78	8
		割合	-	39.1%	35.1%	20.0%	7.0%	9.8%	23.2%	11.4%	2.5%	13.7%	1.4%
	60歳代	回答数	718	294	202	192	52	73	143	74	15	123	22
		割合	-	40.9%	28.1%	26.7%	7.2%	10.2%	19.9%	10.3%	2.1%	17.1%	3.1%
70歳以上	回答数	606	250	141	185	62	47	91	37	13	114	38	
	割合	-	41.3%	23.3%	30.5%	10.2%	7.8%	15.0%	6.1%	2.1%	18.8%	6.3%	
	無回答	回答数	50	17	16	6	7	4	10	4	3	5	3
		割合	-	34.0%	32.0%	12.0%	14.0%	8.0%	20.0%	8.0%	6.0%	10.0%	6.0%
地域区分	市街地地域	回答数	1,112	436	326	239	84	116	245	111	39	174	25
		割合	-	39.2%	29.3%	21.5%	7.6%	10.4%	22.0%	10.0%	3.5%	15.6%	2.2%
	市街地周辺地域	回答数	755	270	252	158	54	64	167	74	19	117	27
		割合	-	35.8%	33.4%	20.9%	7.2%	8.5%	22.1%	9.8%	2.5%	15.5%	3.6%
	犀南地域	回答数	825	309	279	198	70	81	169	70	23	118	17
		割合	-	37.5%	33.8%	24.0%	8.5%	9.8%	20.5%	8.5%	2.8%	14.3%	2.1%
	松代・若穂	回答数	250	99	77	58	23	20	48	25	8	42	10
		割合	-	39.6%	30.8%	23.2%	9.2%	8.0%	19.2%	10.0%	3.2%	16.8%	4.0%
中山間地域	回答数	183	62	60	41	13	21	37	15	5	31	13	
	割合	-	33.9%	32.8%	22.4%	7.1%	11.5%	20.2%	8.2%	2.7%	16.9%	7.1%	
	無回答	回答数	44	16	13	8	4	4	6	2	4	11	0
		割合	-	36.4%	29.5%	18.2%	9.1%	9.1%	13.6%	4.5%	9.1%	25.0%	0.0%
居住年数	5年未満	回答数	195	66	70	42	13	19	35	20	8	32	2
		割合	-	33.8%	35.9%	21.5%	6.7%	9.7%	17.9%	10.3%	4.1%	16.4%	1.0%
	5年以上10年未満	回答数	188	72	69	31	17	14	52	17	8	20	3
		割合	-	38.3%	36.7%	16.5%	9.0%	7.4%	27.7%	9.0%	4.3%	10.6%	1.6%
	10年以上20年未満	回答数	367	114	132	70	34	49	96	34	13	62	2
		割合	-	31.1%	36.0%	19.1%	9.3%	13.4%	26.2%	9.3%	3.5%	16.9%	0.5%
20年以上	回答数	2,397	932	730	555	180	223	485	226	67	375	85	
	割合	-	38.9%	30.5%	23.2%	7.5%	9.3%	20.2%	9.4%	2.8%	15.6%	3.5%	
	無回答	回答数	22	8	6	4	4	1	4	0	2	4	0
		割合	-	36.4%	27.3%	18.2%	18.2%	4.5%	18.2%	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%
職業	農・林・漁業	回答数	136	46	30	33	13	14	21	11	2	21	13
		割合	-	33.8%	22.1%	24.3%	9.6%	10.3%	15.4%	8.1%	1.5%	15.4%	9.6%
	工業	回答数	46	16	10	10	3	3	8	6	1	10	2
		割合	-	34.8%	21.7%	21.7%	6.5%	6.5%	17.4%	13.0%	2.2%	21.7%	4.3%
	商業・自由業	回答数	185	67	45	46	24	17	39	21	8	27	6
		割合	-	36.2%	24.3%	24.9%	13.0%	9.2%	21.1%	11.4%	4.3%	14.6%	3.2%
	事務系会社員	回答数	255	86	110	40	20	27	67	31	7	27	5
		割合	-	33.7%	43.1%	15.7%	7.8%	10.6%	26.3%	12.2%	2.7%	10.6%	2.0%
	サービス系会社員	回答数	307	106	124	47	17	40	77	29	15	41	7
		割合	-	34.5%	40.4%	15.3%	5.5%	13.0%	25.1%	9.4%	4.9%	13.4%	2.3%
	技術系会社員	回答数	321	108	94	64	33	29	75	31	9	46	9
		割合	-	33.6%	29.3%	19.9%	10.3%	9.0%	23.4%	9.7%	2.8%	14.3%	2.8%
	公務員・教員	回答数	174	69	50	41	11	13	67	17	10	14	1
		割合	-	39.7%	28.7%	23.6%	6.3%	7.5%	38.5%	9.8%	5.7%	8.0%	0.6%
	主婦(主夫)	回答数	639	291	208	182	46	54	105	50	17	74	24
		割合	-	45.5%	32.6%	28.5%	7.2%	8.5%	16.4%	7.8%	2.7%	11.6%	3.8%
	パート・アルバイト	回答数	430	162	166	70	24	42	90	44	6	73	7
	割合	-	37.7%	38.6%	16.3%	5.6%	9.8%	20.9%	10.2%	1.4%	17.0%	1.6%	
無職(学生含む)	回答数	437	166	95	129	30	40	80	40	15	95	16	
	割合	-	38.0%	21.7%	29.5%	6.9%	9.2%	18.3%	9.2%	3.4%	21.7%	3.7%	
その他	回答数	133	41	45	22	11	20	28	12	6	32	0	
	割合	-	30.8%	33.8%	16.5%	8.3%	15.0%	21.1%	9.0%	4.5%	24.1%	0.0%	
	無回答	回答数	106	34	30	18	16	7	15	5	2	33	2
		割合	-	32.1%	28.3%	17.0%	15.1%	6.6%	14.2%	4.7%	1.9%	31.1%	1.9%



生涯学習活動を充実させる施策としては、「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる」(37.6%)が約4割と最も多い。次に、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」(31.8%)、「公民館などの施設や設備を充実させる」(22.2%)、「講座や指導者、グループ・サークルなどの情報を充実させる」(21.2%)と続いている。

平成22年度の同様の調査と比べると、回答順位は同様の傾向にある。「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる」、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」、「学んだことを発表する場(機会)をつくり、仲間同士が交流できるようにする」では、平成22年度よりも平成27年度の回答割合がやや低くなった。

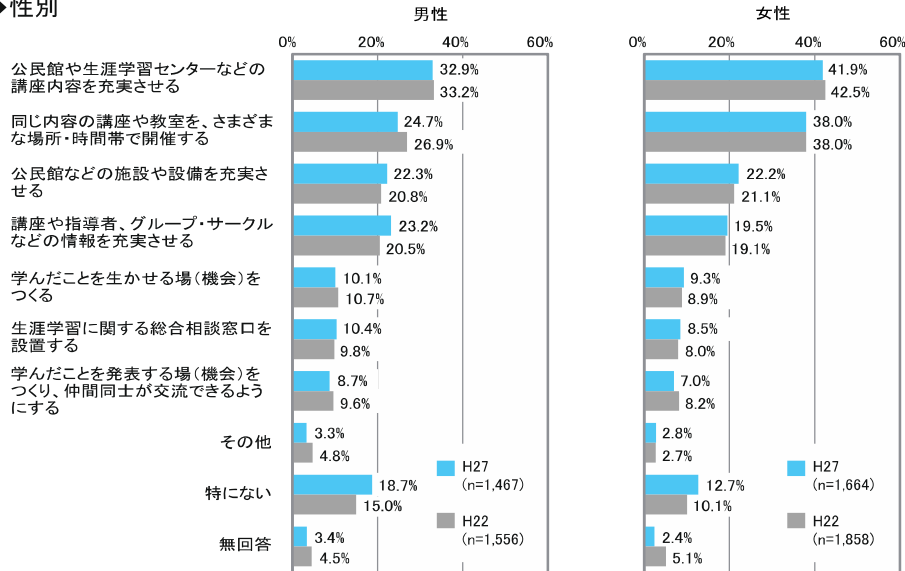
性別で見ると、男女共に「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる」が最も多かった。また、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」は、女性では約4割と高い割合となった。

年代で見ると、20～40歳代では、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」が最も多く、特に、30・40歳代では約4割であった。一方、50歳代以上では、「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる」が約4割と最も多く、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」は、年齢が上がるにつれ、割合は下がった。

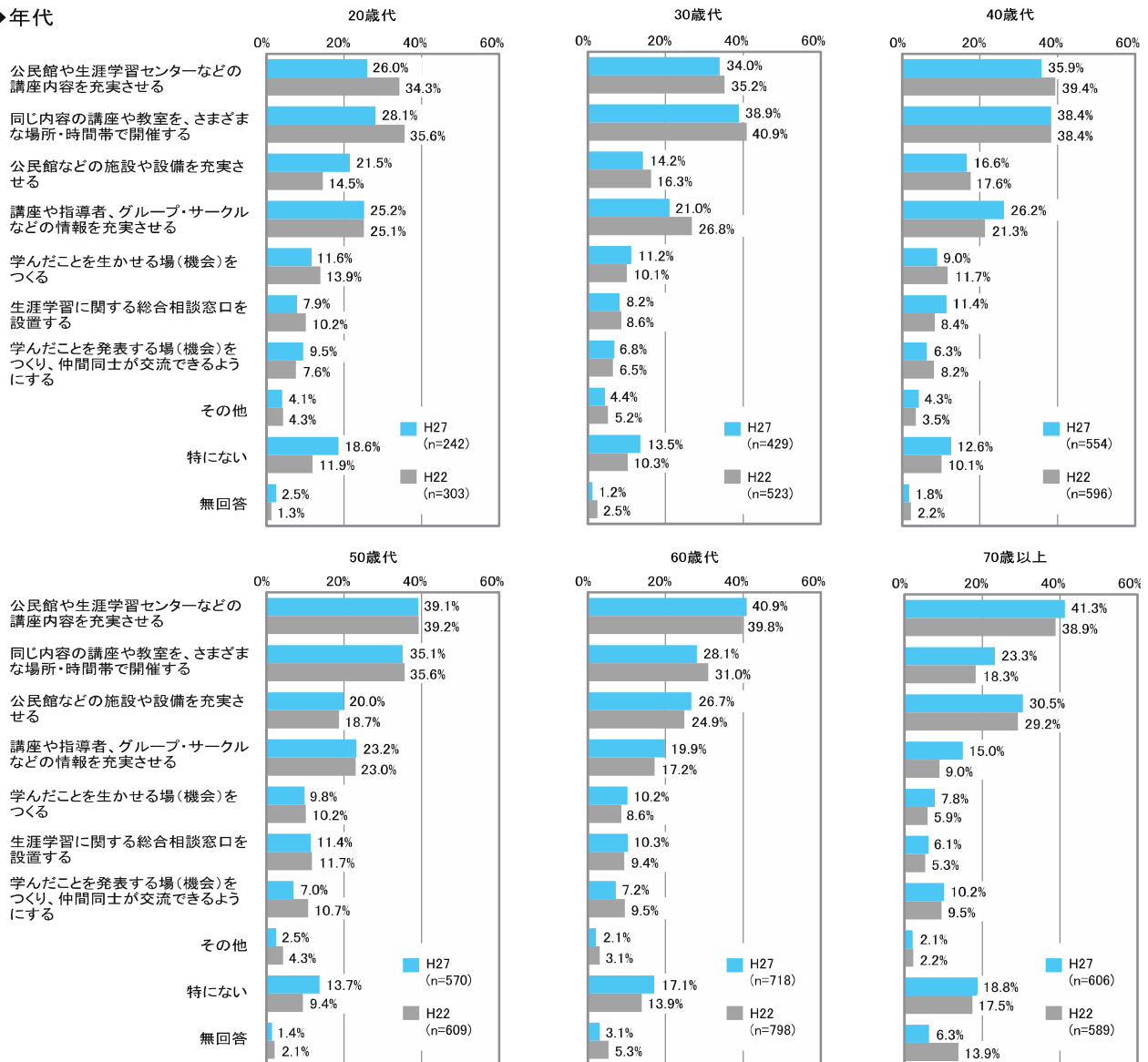
地域区分で見ると、いずれの地域でも、「公民館や生涯学習センターなどの講座内容を充実させる」が最も多く、次に、「同じ内容の講座や教室を、さまざまな場所・時間帯で開催する」が多かった。



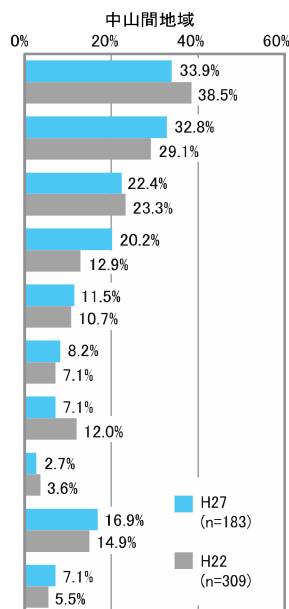
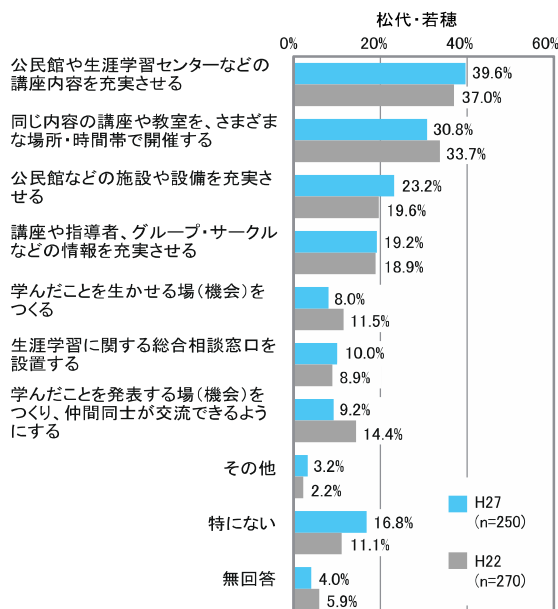
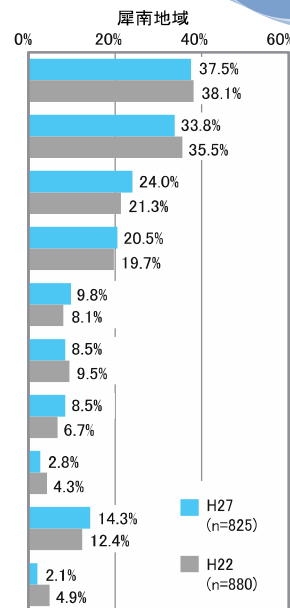
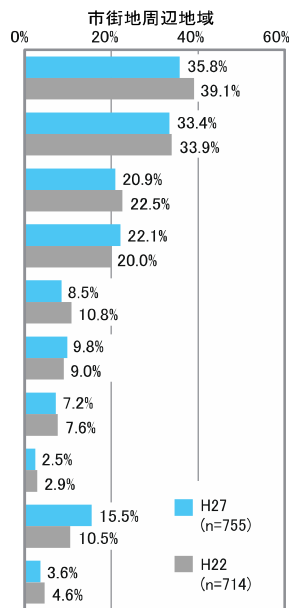
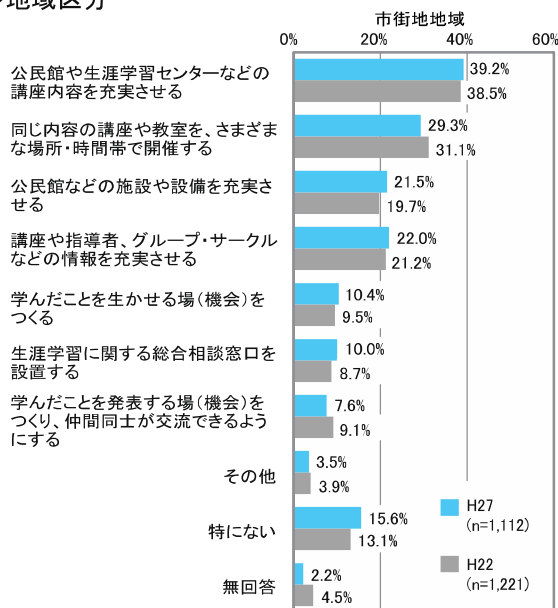
◆性別



◆年代



◆地域区分



## 第二次長野市生涯学習推進計画目標値及び設定根拠等

## 施策1 市民のニーズに応える学習環境づくり～今を充実させ、未来をひろく～

指標項目	現状値 (H27)	目標値 (H33)	根拠	担当課
保健センターでの「家庭の学び講座」受講割合	-	88.0%	「家庭の学び講座」は、7～8か月児健康教室の場で実施するため、同教室の受講率と同率を目標とするもの	家庭・地域 学びの課
「おひざで絵本」事業での絵本配布率	90.0%	95.0%	第一次の目標を継承	家庭・地域 学びの課
子どもわくわく体験事業補助金の交付件数	107件	120件	H27現在で、わくわく補助金を1回も使っていない地区が6地区あり、全地区の活用及び他団体の活用増加を目指す	家庭・地域 学びの課
勤労青少年ホーム利用者数	75,285人	90,000人	H26からH27の増加率4%であることから、今後、毎年4%ずつの増加を目標とする。 $73,231人 \times (4 \times 6年間) \% = 90,806人 \approx 90,000人$	産業政策課
高齢者団体の公民館利用回数	3,750回	3,800回	現状値以上	家庭・地域 学びの課
市立公民館における、ICT活用講座、犯罪・セキュリティ対策、SNS利用啓発等講座の開催数	92	95	ICT等のニーズに対し、会場（部屋）に限りがあることを考慮し、現状維持	家庭・地域 学びの課

## 施策2 市民の学びを生かす地域づくり～生涯学習の成果を生かす～

指標項目	現状値 (H27)	目標値 (H33)	根拠	担当課
市有ホール施設の利用者数	277,372人	535,000人	芸術館ほか5ホールの目標値の合算	文化芸術課
成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	59.1%	65.0%	年間1%の増加を見込み設定。国のスポーツ基本計画と同じ	スポーツ課
住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合について、全国を100とした指数	小学生 129.4 中学生 118.8	小学生 131.7 中学生 120.6	平成25年度から27年度までの最高値を上回るように設定	学校教育課
人権教育・啓発研修会参加者の満足度（「とても良かった」の割合）	88.8%	92.0%	人権研修のアンケート回答の内、「とてもよい」「よい」の占める割合。「とてもよい」「よい」と回答しなかった人のうち、4分の1以上が肯定的な回答に変わることを目指す。	人権男女協働 参画課
国際交流コーナーの利用者数	8,909人	9,200人	年間平均50人の増加を見込み設定	秘書課国際室
環境学習会参加者数	5,104人	5,200人	環境政策主催の学習会の実績と29公民館の実績数に基づく目標値の合算	環境政策課
自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	87.1%	100%	第四次総合計画後期基本計画と同様	消防局 警防課
読みがたり・朗読ボランティア養成講座参加者数	32人	50人	年3人増×6年 = 18人の増加	南部図書館
市立公民館の講座における地域住民が講師を務めた講座の割合	37.2%	38.5%	「地域の学び講座」を各館1講座ずつ増やすことによる割合の増加	家庭・地域 学びの課

## 施策3 市民の学びを支える体制づくり～学習しやすい仕組みをつくる～

指標項目	現状値 (H27)	目標値 (H33)	根拠	担当課
若い世代を中心に構成される団体が市立公民館を利用した割合	9.9%	11.0%	少子高齢化に伴い、若い世代の利用割合は減少傾向にあるが、5年後に1%増を目指す。	家庭・地域 学びの課
公民館活動に関するSNS（ツイッター）による年間情報発信数	-	180	2日に1度の発信数	家庭・地域 学びの課
生涯学習センターの利用者数	207,513人	210,000人	H27の数値は、御開帳等の影響により一時的に急増しているため、前年度（H26）の188,068人を基準値とし、年間3,000人×7年の増加を目標値とする	家庭・地域 学びの課
1日当たりの入館者数（長野図書館）	1,164人	1,250人	1年で1%以上、6年間で6%以上の増加	長野図書館
少年科学センター入館者数	107,318人	110,000人	現状値以上	家庭・地域 学びの課
「親子学級」を実施する公民館数	-	29館 (全館)	公民館全館の実施	家庭・地域 学びの課
「地域の学び講座」を実施する公民館数	-	29館 (全館)	公民館全館の実施	家庭・地域 学びの課

## 第二次長野市生涯学習推進計画

発行	平成 29 年 4 月発行
編集	長野市・長野市教育委員会
	長野市教育委員会事務局 家庭・地域学びの課
	〒380-8512
	長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
	電話 026-226-4911 (代表)
	026-224-5082 (直通)
	FAX 026-224-5104
	E-mail <a href="mailto:manabi@city.nagano.lg.jp">manabi@city.nagano.lg.jp</a>



豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」